Nikon

レンズ交換式デジタルカメラ

1 J2
使用説明書

Jp

目 次

パソコンとの接続 66

資料 71

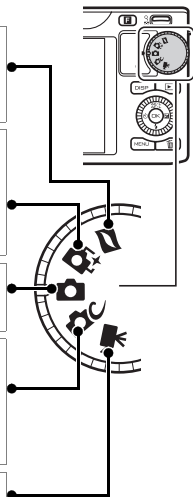
5つの撮影モードで「撮る」

：静止画撮影時に短い動画も一緒に残したいときは、**モーションスナップショットモード**（45）

：振り向きざまの笑顔やパーティでの集合写真など、静止画のベストショットを撮りたいときは、**スマートフォトセレクターモード**（33）

：カメラまかせで簡単に静止画を撮影したいときは、**静止画オートモード**（21）

：特殊な効果をつけて撮影したいときや、シーンに合わせて撮影したいとき、露出モード**P**、**S**、**A**、**M**で撮影したいときは、**クリエイティブモード**（27）

：動画やスローモーション動画を撮りたいときは、**動画撮影モード**（37）

このたびはニコンレンズ交換式デジタルカメラをお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。お使いになる前に、使用説明書（本書）をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。さらに詳しい説明は、活用ガイドCD-ROMの活用ガイドをご覧ください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

表記について

- カメラの設定が初期設定であることを前提に操作の説明を行っています。
- ご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。
- 主に1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6のレンズを使用して、説明しています。
- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- バッテリーチャージャーを「チャージャー」と表記しています。
- ロータリーマルチセレクターの上、下、左、右を、▲、▼、◀、▶と表記しています。

本文中のマークについて

本書では、次の記号を使用しています。必要な情報を探すときにご活用ください。

カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。

カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

本書上で関連情報が記載されているページです。

「見て聞くマニュアル」デジチューター

インターネット上でNikon 1 J2の操作方法を、動画や作例写真を交えながら説明しています。下記アドレスのホームページをご覧ください。
http://www.nikondigitutor.com/

⚠安全上のご注意

安全にカメラをお使いいただくために守っていただきたい内容が記載されています。カメラをお使いになる前に、必ず「安全上のご注意」（□4～12）と「カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意」（□75～79）をお読みになり、記載事項をお守りください。

使用説明書について

このカメラには、2種類の使用説明書が付属しています。

使用説明書：基本的な撮影や再生について説明しています（本書）。

活用ガイド：カメラのすべての機能について詳細に説明しています（活用ガイドCD-ROMをご覧ください）。

活用ガイドをご覧いただくためには、Adobe Reader またはAdobe Acrobat Reader 5.0 以降が必要です。

1 パソコンを起動し、活用ガイドCD-ROMをCD-ROMドライブに入れる

2 **Windowsの場合**：［**コンピュータ**］（Windows XP の場合は［**マイコンピュータ**］）ウィンドウを開き、CD-ROM（**Nikon 1 J2**）アイコンをダブルクリックする

Mac OSの場合：デスクトップのCD-ROM（**Nikon 1 J2**）アイコンをダブルクリックする

3 ［**INDEX.pdf**］のアイコンをダブルクリックする

言語選択の画面が表示されます。言語をクリックすると、活用ガイドが表示されます。

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用し、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は、次のようになっています。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

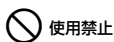
△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為（してはいけないこと）を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

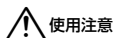
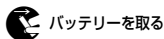
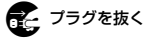
●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告（カメラとレンズについて）

分解禁止	**分解したり修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 バッテリー、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
バッテリーを取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかにバッテリーを取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 バッテリーを取り出す際、やけどに充分注意してください。 バッテリーを抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
使用禁止	**引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。
使用禁止	**レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと** 失明や視力障害の原因となります。
発光禁止	**車の運転者等に向けてフラッシュを発光しないこと** 事故の原因となります。
発光禁止	**フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。
保管注意	**幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届くところに置かない** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだときは直ちに医師にご相談ください。
警告	**ストラップが首に巻き付かないようにすること** 特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと。 首に巻き付いて窒息の原因となります。

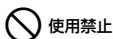
⚠ 警告（カメラとレンズについて）

使用禁止	**ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
警告	**指定のバッテリーまたは専用ACアダプターを使用すること** 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。

⚠ 注意（カメラとレンズについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
使用注意	**カメラの電源がONの状態で、長時間直接触れないこと** 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。
保管注意	**製品は幼児の手の届くところに置かない** ケガの原因になることがあります。
使用注意	**逆光撮影では、太陽を画角から充分にずらすこと** 太陽光がカメラ内部で焦点を結び、火災の原因になることがあります。画角から太陽をわずかに外しても火災の原因になることがあります。
保管注意	**使用しないときは、レンズにキャップを付けるか、太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
移動注意	**三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりして、ケガの原因となることがあります。
使用注意	**航空機内で使うときは、離着陸時に電源をOFFにすること** **病院で使うときは病院の指示に従うこと** 本機器が出す電磁波などにより、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。
バッテリーを取る プラグを抜く	**長期間使用しないときは電源（バッテリーやACアダプター）を外すこと** バッテリーの液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 ACアダプターをご使用の際には、ACアダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

⚠ 注意（カメラとレンズについて）

発光禁止	**内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因になることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** 内部の部品に悪影響を与え、火災の原因になることがあります。
禁止	**付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと** 機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。

⚠ 危険（専用リチウムイオン充電池について）

禁止	**バッテリーを火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**バッテリーを分解しない** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げたりしない** 液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。
危険	**専用の充電器を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと** ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。 持ち運ぶときは端子カバーをつけてください。
使用禁止	**Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL20に対応していない機器には使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。 Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL20は、Nikon 1 J2に対応しています。
危険	**バッテリーからもれた液が目に入ったときはすぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警告（専用リチウムイオン充電池について）

保管注意	**バッテリーは幼児の手の届くところに置かない** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**バッテリーをリサイクルするときや、やむなく廃棄するときはビニールテープなどで接点部を絶縁する** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。 ニコンサービス機関やリサイクル協力店にご持参くださるか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。
警告	**バッテリーからもれた液が皮膚や衣服に付いたときはすぐにきれいな水で洗うこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠ 注意（専用リチウムイオン充電池について）

使用注意	**通電中のバッテリーに長時間直接触れないこと** 通電中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

⚠ 警告（チャージャーについて）

分解禁止	**分解したり修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 チャージャーをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

⚠ 警告（チャージャーについて）

プラグを抜く すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかにチャージャーをコンセントから抜くこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。チャージャーをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
使用禁止	**引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。
警告	**電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭き取ること** そのまま使用すると火災の原因になります。
使用禁止	**雷が鳴り出したらチャージャーに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
感電注意	**ぬれた手でチャージャーをコンセントから抜き差ししないこと** 感電の原因になることがあります。
禁止	**チャージャーを海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わないこと** 発熱、故障、火災の原因となります。

⚠ 注意（チャージャーについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
使用注意	**通電中のチャージャーに長時間直接触れないこと** 通電中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。
放置注意	**製品は幼児の手の届くところに置かない** ケガの原因になることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

ご確認ください

保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録ができます。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載されている登録コードをご用意ください。

カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/support/

大切な撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

著作権についてのご注意

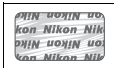
あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

使用説明書および活用ガイドについて

- 使用説明書および活用ガイドの一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書および活用ガイドの誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書および活用ガイドの内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書のPDFファイルをダウンロードできます。
  http://www.nikon-image.com/support/manual/
  ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（レンズ、バッテリー、チャージャー 、ACアダプターなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL20には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が発揮できないほか、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

SDカード内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

SDカードを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にSDカードがいっぱいになるまで、空や地面などの画像で置き換えることをおすすめします。SDカードを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）

(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

http://www.mpegla.comをご参照ください。

カメラが熱くなったときは

- カメラボディー表面が熱くなることがありますが故障ではありません。
- 次のような場合は、高温によるカメラへの損傷を抑えるために警告メッセージが表示され、カメラの電源がOFFになります。警告メッセージが表示され、撮影を開始できない場合は、電源をOFFにしたままカメラ内部の温度が下がるまで撮影を一時休止してください。
  - 撮影時の気温が高い場合
  - 静止画、動画撮影を長時間行った場合
  - 連写（連続撮影）を行った直後など

☑ アクセサリーについてのご注意

このカメラには、ニコン製のアクセサリーをお使いいただくことをおすすめします。他社製アクセサリーは、カメラの故障や不具合の原因となることがあります。他社製アクセサリー使用によるカメラの不具合については、保証の対象となりませんので、ご了承ください。なお、このカメラに使用できる別売アクセサリーについての最新情報は、最新のカタログや当社のホームページなどでご確認ください（□10）。

☑ カメラなどの点検サービスについて

カメラは精密機械ですので、1～2年に1度は定期点検を、3～5年に1度はオーバーホールされることをおすすめします（有料）。

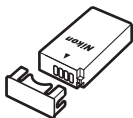
- 特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
- より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズなども併せて点検依頼されることをおすすめします。

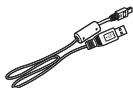
はじめに

カメラと付属品の確認

お使いになる前に、カメラと付属品が全てそろっていることを確認してください。万一、不足のものがありましたら、ご購入店にご連絡ください。

❑ ボディーキャップ BF-N1000

❑ Nikon 1 J2 カメラ本体

❑ Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL20（端子カバー付）

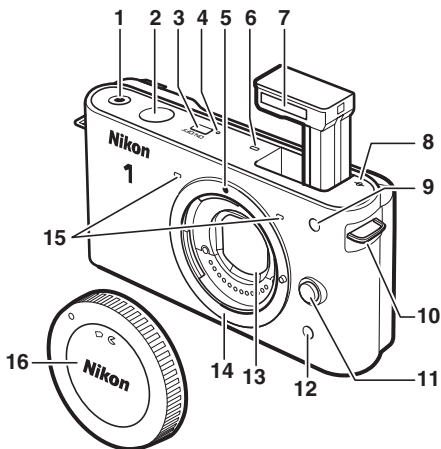
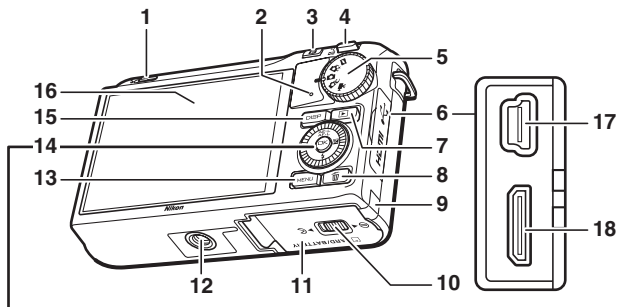
❑ バッテリーチャージャー MH-27

❑ USB ケーブル UC-E15

❑ レンズ（レンズキャップ、裏ぶた付）

❑ ストラップAN-N1000
❑ ViewNX 2/ Short Movie Creator CD-ROM
❑ 保証書
❑ 使用説明書（本書）
❑ 活用ガイド CD-ROM
❑ 登録のご案内

- SD カードは付属していません。
- レンズは、レンズキットの場合のみ付属しています。

各部の名称と機能

カメラ本体

1	動画撮影ボタン................38、41	10	ストラップ取り付け部（吊り金具）........................... 17
2	シャッターボタン ....22、34、39、46	11	レンズ取り外しボタン
3	電源スイッチ............................19	12	リモコン受光部 ....55、81
4	電源ランプ................................19	13	ダストシールド 74
5	レンズ着脱指標........................19	14	レンズマウント 19
6	スピーカー	15	マイク
7	内蔵フラッシュ........................57	16	ボディーキャップ................... 13
8	-e-距離基準マーク		
9	AF補助光 セルフタイマーランプ............54 赤目軽減ランプ........................57		

ロータリーマルチセレクターは、上下左右（▲、▼、◀、▶）を押したり回して操作できます。

1	フラッシュポップアップレバー 57
2	SDカードアクセスランプ 23
3	F フィーチャーボタン ..... 27、39、47
4	サムネイル/拡大レバー ..... 25、44、47
5	撮影モードダイヤル 1
6	端子カバー
7	▶ 再生ボタン ..... 25、35、48
8	削除ボタン ..... 26、36、44、48
9	パワーコネクターカバー
10	バッテリー /SDカードカバー開閉ノブ 18
11	バッテリー /SDカードカバー 18
12	三脚ネジ穴
13	MENU メニューボタン 60
14	ロータリーマルチセレクター ..... 61 OK OKボタン ..... 61 AE-L AF-L AE/AFロックボタン 露出補正ボタン フラッシュモードボタン ..... 58 セルフタイマーボタン 53
15	DISP表示切り換えボタン ..... 20、47
16	液晶モニター 16
17	USB端子 68
18	HDMIミニ端子

液晶モニター表示

説明のため、全ての表示を点灯させています。

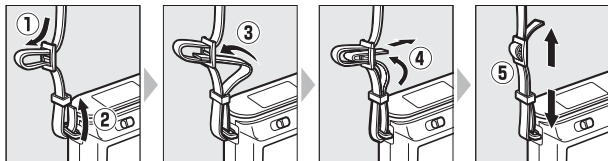
表示なし	残量は充分に残っています。
(電池マーク)	残量は残りわずかです。

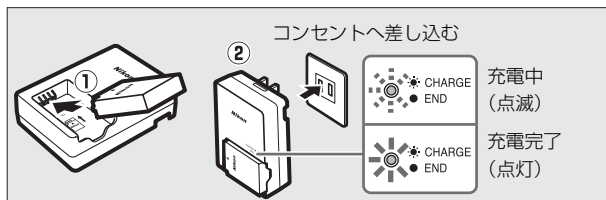
番号	項目	ページ
1	撮影モード	1
2	露出モード	30、62
	シーン	24、28
3	プログラムシフトマーク	
4	フラッシュモード	57
5	レディーライト	57
6	セルフタイマー / リモコンモード	53
	連写モード※	62
7	アクティブD-ライティング※	63
8	Picture Control※	63
9	ホワイトバランス※	63
10	動画の設定（HD動画）※	62
	撮影速度（スローモーション動画）※	62
11	画像サイズ※	62
12	画質モード※	62
13	フォーカスモード※	63
14	AFエリアモード※	63
15	顔認識AF※	24
16	フラッシュ調光補正量	63
17	露出補正値	
18	1000コマ以上補助表示	
19	記録可能コマ数	
	連続撮影可能コマ数	
	ホワイトバランスプリセットマニュアルデータ取得モード表示	
	カードなしマーク	
20	録画可能残り時間	38、41
21	ISO感度※	63
22	ISO感度マーク※	63
	ISO-AUTOマーク※	
23	絞り値	
24	シャッタースピード	
25	測光モード※	62
26	バッテリー残量表示※	
27	音の設定※	64
28	Eye-Fiマーク※	
29	AE-L/AF-Lマーク	
30	AFエリア	22
31	マイク感度※	63
32	録画中経過時間	38、41
33	録画中マーク	38、41
	HDR	31

※DISPボタンを押して詳細表示にしたときのみ表示されます。

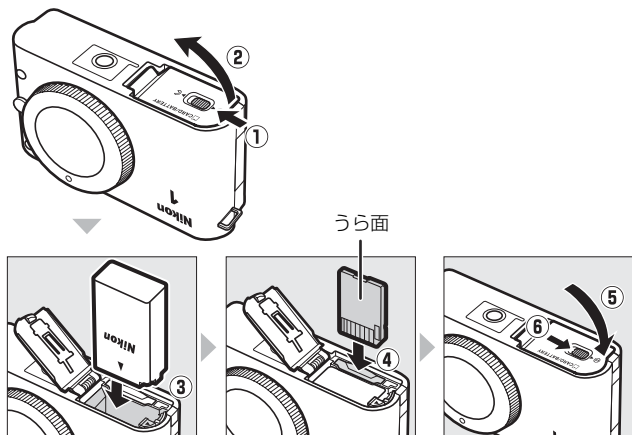
撮影前の準備

ストラップを取り付ける

次のようにストラップをカメラに取り付けます（2カ所）。

バッテリーを充電する

付属のLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL20は、お使いになる前に付属のバッテリーチャージャー MH-27（以下チャージャー）で次のようにフル充電してください。充電には約2 時間かかります（残量の無いバッテリーの場合）。

充電が完了したら、チャージャーをコンセントから抜き、バッテリーを取り外します。

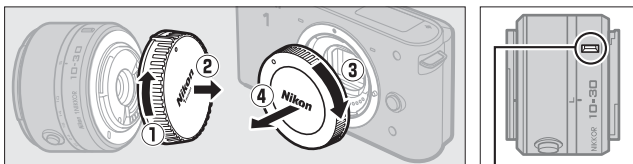
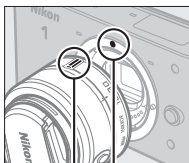
カメラにバッテリーとSDカードを入れる

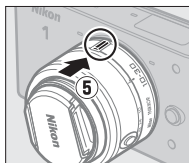
バッテリーとSDカードを入れる向きに注意してください。

- オレンジ色のバッテリーロックレバーをバッテリー側面で押しながら、バッテリーを奥まで差し込むと、オレンジ色のバッテリーロックレバーで固定されます（③）。
- SDカードはカチッと音がするまで挿入してください（④）。

SDカードの初期化（フォーマット）

このカメラに初めて入れるSDカードや、他のカメラやパソコンで初期化されたSDカードは、セットアップメニュー［**メモリーカードの初期化**］で初期化してください（□64）。SDカードを初期化すると、カード内のデータは全て削除されます。必要なデータがある場合は、初期化する前にパソコンなどに保存してください。

レンズを取り付ける

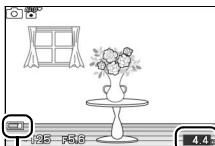
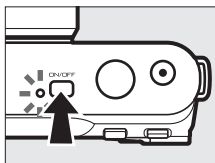
ほこりなどがカメラ内部に入らないように注意してください。

レンズの指標

カメラの指標

レンズの指標

カメラの指標とレンズの指標を合わせてレンズを取り付け、カチッと音がするまで矢印の方向にレンズを回す

電源スイッチを押してカメラの電源をONにする

電源スイッチを押すと、電源ランプ（緑色）が一瞬点灯した後、液晶モニターが点灯します。

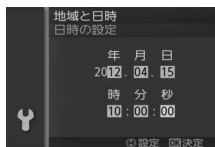
- もう一度電源スイッチを押すと、電源がOFFになります。電源がOFFになると、液晶モニターが消灯します。

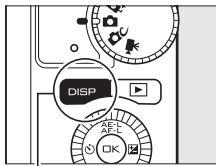
- 液晶モニターでバッテリーの残量（□16）と、SDカードの記録可能コマ数（これから撮影できるコマ数）を確認します。
- 撮影する前に、レンズキャップを外してください。

バッテリー残量

記録可能コマ数

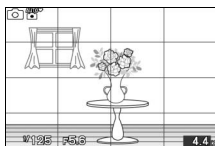
日時を設定する

ご購入後、初めて電源をONにすると、カメラの内蔵時計の日付と時刻を設定する画面が表示されます。

- ロータリーマルチセレクターの▲または▼を押して、選択中の項目の数値を合わせます。
- ◀または▶を押して項目を移動します。
- ㊋ ボタンを押すと、日付と時刻が設定されます。

DISP（表示切り換え）ボタン

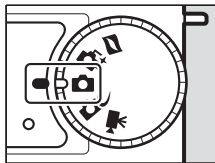
撮影時と再生時にDISPボタンを押すたびに、液晶モニターに表示される情報が切り替わります。

DISPボタン

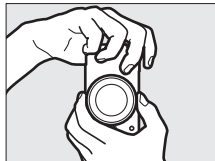
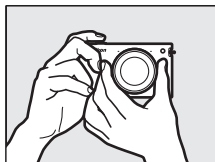
格子線の表示

セットアップメニューの［**格子線の表示**］を［**する**］にすると、撮影時に構図用格子線を表示できます（□64）。

静止画オートモード

静止画オートモードは、通常の静止画撮影に適しています。

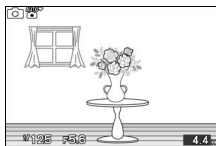
静止画を撮影する

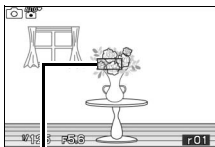
1 撮影モードダイヤルを📷に合わせる

2 カメラを両手でしっかりと構える

- レンズやAF補助光、マイクなどに、指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。
- 人物などを縦位置で撮影する場合は、カメラを縦位置に構えます。
- 暗いときは、手ブレしやすいので内蔵フラッシュ（□57）や三脚の使用をおすすめします。

設定できる機能について

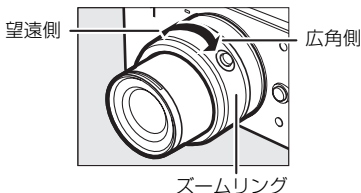
静止画オートモードで設定できる機能については、「設定できる機能一覧」（□49）を参照してください。

3 構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。

4 シャッターボタンを軽く押して（半押しして）、被写体にピントを合わせる

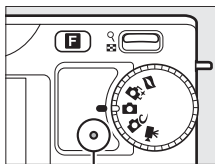
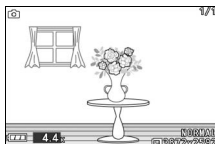
- ピントが合うと、ピピッという電子音が鳴り、AFエリアが緑色に点灯します（被写体が動いているときは、電子音が鳴らない場合があります）。
- AFエリアが赤く表示されたときは、オートフォーカスでのピント合わせができません。
- 暗い場所などでは、AF補助光（□14）が光ることがあります。

ズームレンズの使い方

被写体を大きく写したいときはズームリングを望遠側（焦点距離目盛の大きい数値側）に、広い範囲を写したいときはズームリングを広角側（焦点距離目盛の小さい数値側）に回してください。

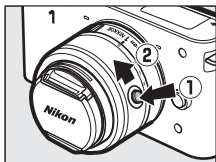
望遠側
広角側
ズームリング

5 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込んで（全押しして）、撮影する

- シャッターがきれ、画像がSDカードに記録されます。
- SDカードアクセスランプが点灯している間は、画像を記録しています。**SDカードやバッテリーを取り出したり、ACアダプター（別売）を取り外さないでください。**

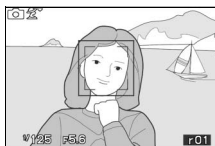
- 撮影が終了すると、撮影した画像が液晶モニターに数秒間、表示されます。

- 画像の表示中でもシャッターボタンを半押しすると、すぐに次の撮影ができます。

☑ ズームリングボタンの付いたレンズをお使いの場合

ズームリングボタンの付いたレンズは、沈胴状態では撮影できません。

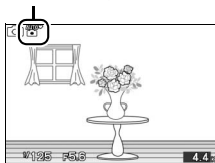
- ズームリングボタンを押しながら（①）ズームリングを矢印の方向に回します（②）。ズームリングのロックが解除され、レンズが繰り出します。
- 収納するときは、ズームリングボタンを押しながら、ズームリングを逆方向に回します。レンズが鏡筒に収まり、ズームリングがロックされます。
- レンズを取り外す前にレンズを収納してください。また、レンズ着脱時は、ズームリングボタンを押さないよう、ご注意ください。
- ズームリングのロックを解除すると、電源がONになります。
- 次の場合にズームリングをロックすると、電源がOFFになります。
  - 液晶モニターに撮影画面が表示されている場合
  - 液晶モニターが消灯し待機状態の場合（1 NIKKOR VR 10-30mmf/3.5-5.6または1 NIKKOR VR 30-110mmf/3.8-5.6レンズをお使いの場合、レンズのファームウェアがVer.1.##以降である必要があります。ファームウェアのバージョンアップ方法については、当社のホームページなどでご確認ください）

人物を撮影する場合のピント合わせ（顔認識AF）

カメラが人物の顔（正面）を認識すると、AFエリアが黄色の二重枠に変わります。複数の顔を認識した場合（最大5人まで）は、カメラが最も近いと判断した人物の顔を二重枠で表示します。

- シャッターボタンを半押しすると、二重枠で囲まれた人物の顔にピントを合わせます。
- 途中で顔が横を向くなどしてカメラが顔を見失うと、枠が消えます。

シーンの自動判別について

シーンのアイコン

静止画オートモードでは、カメラが撮影シーンや被写体を自動的に判別し、最適な設定で撮影します。

- 液晶モニターの左上に、カメラが選んだシーンのアイコンが表示されます。

	ポートレート	人物を認識した場合
	風景	自然の風景や町並みを認識した場合
	夜景ポートレート	夕景や夜景をバックに人物を認識した場合
	クローズアップ	近接位置の被写体を認識した場合
	オート	上記のシーンを認識しなかった場合

節電機能について（オートパワーオフ）

カメラを操作しない状態が約30秒間続くと、液晶モニターが自動的に消灯して待機状態になり、電源ランプ（□19）が点滅します。そのまま約3分経過すると、電源が自動的にOFFになります。

- 待機状態（電源ランプが点滅）を解除するには、ボタンや撮影モードダイヤルなどを操作してください。

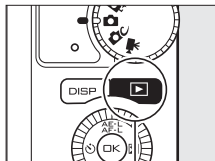
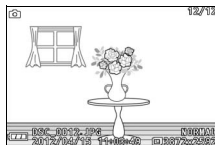
静止画オートモードについて

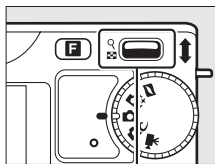
動画撮影ボタンを押しても、動画は撮影できません。

関連ページ

撮影時の電子音を鳴らないように設定する → ［**音の設定**］（□64）

撮影した静止画を確認する

▶ボタンを押して、画像を再生すると、最後に撮影した画像が液晶モニターに表示されます（1コマ表示モード）。

▶ボタン

- ロータリーマルチセレクターの ◀ または ▶ を押すかロータリーマルチセレクターを回すと、前後の画像を表示できます。

- レバーを上に押すと、表示中の画像を拡大します。
- レバーを下に押すと、複数の画像を一覧表示します。
- 撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。

レバー

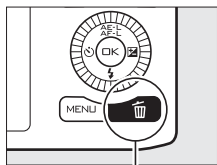
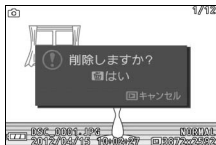
関連ページ

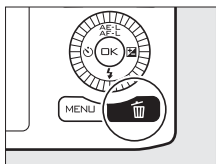
撮影した画像をスライドショーで自動的に再生する → ▶［**スライドショー**］（□62）

画像を削除する

表示中の画像を削除します。削除した画像は元には戻せないのでご注意ください。

1 削除したい画像を表示して、🗑ボタンを押す

- 削除確認画面が表示されます。

🗑ボタン

2 もう一度🗑ボタンを押して、表示中の画像を削除する

- 削除をやめるには、▶ボタンを押します。

再生メニュー［削除］

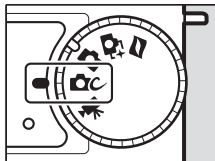
再生メニューの［**削除**］（□62）では次の方法で、複数の画像を一度に削除できます：

- 複数の画像を選んで削除する：選択画像削除
- 同じ日付の画像をまとめて削除する：日付選択
- 全画像を一括で削除する：全画像削除
- （削除候補）画像のみを削除する：削除候補

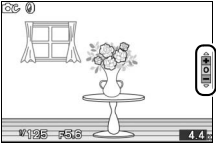
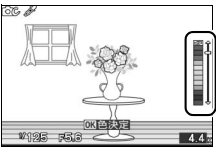
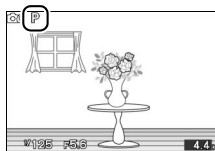
クリエイティブモード

特殊な効果をつけて撮影したり、シーンに合わせて撮影したりできます。露出モード**P**、**S**、**A**、**M**で撮影することもできます。

クリエイティブモードを選ぶ

1 撮影モードダイヤルを📷Cに合わせる

2 シーンを選ぶ

Fボタン

- Fボタンを押すと［**シーン**］メニューが表示されます。使用したいシーン（□28）をロータリーマルチセレクターで選びます。

- OKボタンを押すと、撮影画面に選んだシーンのアイコンが表示されます。

クリエイティブモードのシーンを選ぶ

シーン	内容
P、S、A、M	シャッタースピードや絞り値、各種設定を自分で決めて、より本格的な撮影を楽しむことができます。詳しくは30ページを参照してください。
夜景 **( )**	夜の雰囲気を表現して撮影できます。 • シャッターボタンを全押しすると、連続で撮影して合成します。合成処理中は、液晶モニターにメッセージが表示され、表示が消えるまで次の撮影はできません。 • 動いている被写体を撮影する場合や撮影時の手ブレの量が大きい場合は、正しく合成されないことがあります。 • 正しく合成されない場合、警告メッセージを表示して、連写した1枚目を保存します。 • 内蔵フラッシュを上げていても、フラッシュは発光しません。 • 撮影した画像の周辺部は切り取られます。
夜景ポートレート **( )**	夕景や夜景をバックに人物を撮影するときに使います。背景の雰囲気を活かしながら人物をフラッシュ撮影します。 • シャッターボタンを全押しすると、フラッシュを発光をした画像と発光しない画像を連続で撮影して合成します。合成処理中は、液晶モニターにメッセージが表示され、表示が消えるまで次の撮影はできません。 • 動いている被写体を撮影する場合や撮影時の手ブレの量が大きい場合は、正しく合成されないことがあります。 • 正しく合成されない場合、警告メッセージを表示して、フラッシュ発光して撮影した画像を保存します。 • 内蔵フラッシュを上げてください。内蔵フラッシュを上げないと、撮影ができません。 • 撮影した画像の周辺部は切り取られます。
逆光 **( )**	逆光状態での撮影に使います。詳しくは31ページを参照してください。

シーン	内容
かんたんパノラマ (□)	カメラで再生可能なパノラマ写真を撮影できます。パノラマ写真の撮影方法は32ページを参照してください。
ソフト (◎)	柔らかな雰囲気にするために、画像全体を少しぼかします。 • 撮影画面で ⓚ ボタンを押すと、ロータリーマルチセレクターで効果の度合いを選べます。ⓚボタンを押して決定します。
ミニチュア効果 (🏠)	撮影した画像の上下部分をぼかすことにより、ミニチュア（模型）を接写したように表現します。高いところから見下ろして撮影すると効果的です。
セレクトカラー (✐)	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。 • 撮影画面でロータリーマルチセレクターを使用して、残したい色を選べます。ⓚボタンを押して決定します。

設定できる機能について

クリエイティブモードで設定できる機能については、「設定できる機能一覧」(□51）を参照してください。

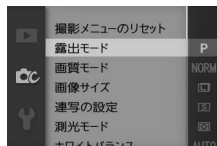
クリエイティブモードについて

動画撮影ボタンを押しても、動画は撮影できません。

[P、S、A、M] で撮影する

[**P、S、A、M**] では、露出モードが選べます。撮影の意図に応じて、シャッタースピードと絞り値のそれぞれを自分で設定したり、カメラまかせにしたり出来ます。

▮▮ 露出モードを選ぶ

- MENUボタンを押して、撮影メニューの [**露出モード**] (□62) を選んでロータリーマルチセレクターの▶を押します。

- 使用したい露出モードを選んで㊩ボタンを押します。

P	**プログラムオート**	シャッタースピードと絞り値の両方をカメラが自動制御します。
S	**シャッター優先オート**	シャッタースピードを自分で設定し、絞り値はカメラが自動制御します。
A	**絞り優先オート**	絞り値を自分で設定し、シャッタースピードはカメラが自動制御します。
M	**マニュアル**	シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します。

[逆光] で撮影する

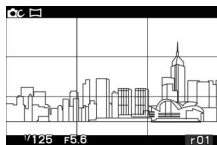
[**逆光**] で撮影する場合、撮影メニュー（□62）の [**HDR**] の設定によって、撮影方法が次のように異なります。

<table>
<tr><td>する</td><td>1回の撮影で露出が異なる画像を連続で撮影して合成する、HDR（ハイダイナミックレンジ）合成を行います。白とびや黒つぶれの少ない、シャドー部からハイライト部まで幅広く再現された画像になります。明暗差の大きい風景撮影に適しています。
 ＋
露出暗めで撮影した画像 / 露出明るめで撮影した画像 / HDRで合成された画像
• 撮影画面にHDRアイコンが表示されます。
• シャッターボタンを全押しすると、高速で連写します。合成処理中は、液晶モニターにメッセージが表示され、表示が消えるまで次の撮影はできません。
• 合成処理が終了すると、合成後の画像が再生されます。</td></tr>
<tr><td>しない</td><td>HDR合成は行いません。人物が陰にならないように、フラッシュを発光します。
• 内蔵フラッシュを上げてください。内蔵フラッシュを上げないと、撮影ができません。</td></tr>
</table>

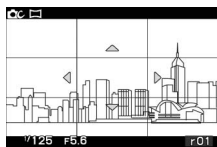
[HDR] を [する] にした場合のご注意

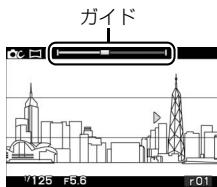
- 撮影した画像の周辺部は切り取られます。
- 動いている被写体を撮影する場合や撮影時の手ブレの量が大きい場合は、正しく合成されないことがあります。
- 正しく合成されない場合、適正露出で撮影され、[**アクティブD-ライティング**]（□63）の [**する**] が適用された画像が保存されます。
- 撮影シーンによっては、明るい被写体の周辺に暗い影がでたり、暗い被写体の周辺が明るくなったりします。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。
- 内蔵フラッシュを上げていても、フラッシュは発光しません。

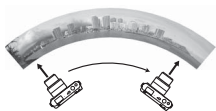
[かんたんパノラマ] で撮影する

1 一番端の被写体に構図を合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- 画面に格子のガイドが表示されます。

2 シャッターボタンを全押ししてから指を離す

- カメラを動かす方向を示す△▽◁▷マークが表示されます。

3 カメラを4方向のいずれかに、まっすぐゆっくりと動かし、撮影を開始する

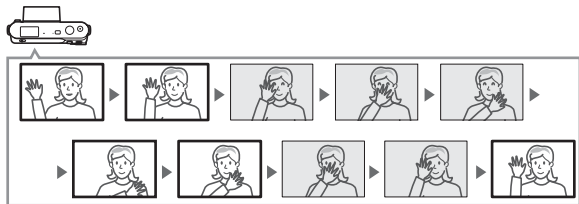
- カメラが動いている方向を検出すると、撮影が始まります。
- 現在の撮影地点を示すガイドが表示されます。
- 撮影地点を示すガイドが端まで到達すると撮影が終了します。

カメラの動かし方の例

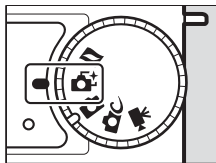
- 撮影者は動かずに、カメラを水平方向、または垂直方向に円弧を描くように動かします。

パノラマ画像を再生する

撮影したパノラマ画像は、1コマ表示モードでⓀボタンを押すと、撮影したときと同じ方向に自動で移動（スクロール）しながら再生されます。

スマートフォトセレクターモード

スマートフォトセレクターモードは、振り向きざまの笑顔やパーティでの集合写真など、ベストショットの静止画を撮影したいときに適しています。

- シャッターをきると、動きや構図が最適な画像をカメラが自動で選びます。ベストショットと候補の合計5コマの静止画が記録されます。

スマートフォトセレクターで撮影する

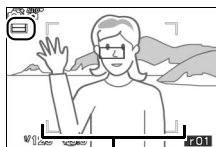
1 撮影モードダイヤルを に合わせる

設定できる機能について

スマートフォトセレクターモードで設定できる機能については、「設定できる機能一覧」（□49）を参照してください。

2 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。

3 シャッターボタンを半押しして、シャッターチャンスを待つ

- 被写体に自動的にピントが合います（□22）。
- シャッターボタンの半押し中は、カメラが先取り撮影を行います（液晶モニターにアイコンが表示されます）。
- シャッターボタンを半押ししている間、カメラは被写体の動きに合わせてピントを合わせ続けます。AFエリアフレーム内の被写体にピントが合います。

AFエリアフレーム

4 シャッターチャンスが来たら、シャッターボタンを全押しして撮影する

- シャッターがきれ、シャッターボタン全押しの前後に撮影したベストショットと候補の静止画をカメラが選んで、合計5コマ記録します。
- 全ての画像を記録し終えるまで、時間がかかる場合があります。
- 撮影が終了すると、ベストショットが1コマ液晶モニターに数秒間表示されます。

スマートフォトセレクターモードについて

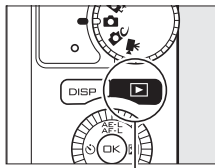
- 常にカメラが撮影シーンや被写体を自動的に判別して最適な設定で撮影します。
- 動画撮影ボタンを押しても、動画は撮影できません。
- 内蔵フラッシュを上げていても、フラッシュは発光しません。

撮影したスマートフォトセレクター画像を確認する

▶ボタンを押して1コマ表示モード（□25）で画像を再生し、ロータリーマルチセレクターでスマートフォトセレクター画像を選びます（スマートフォトセレクターマークが表示されている画像です）。撮影した5コマの画像のうち、ベストショットのみが表示されます。

▶ボタン

- ベストショット候補の画像は表示されません。そのため、画像を切り換えるときに、コマ番号が抜けているように見えます。

- 撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。

ベストショットを自分で選ぶ

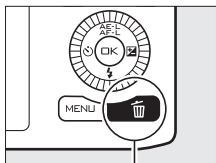
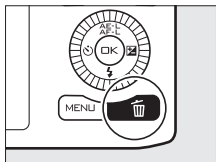
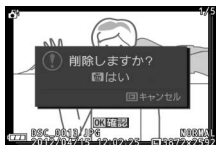
スマートフォトセレクター画像を表示して、Ⓞボタンを押すと、ベストショットの切り換え画面が表示されます。

- ロータリーマルチセレクターの◀または▶を押すと、ベストショット候補の画像を表示できます。
- 画像を選んでⓄボタンを押すと、選んだ画像がベストショットとして表示されます。
- ベストショットの切り換えをやめるには▶ボタンを押します。

スマートフォトセレクター画像を削除する

[削除]ボタン

スマートフォトセレクター画像を表示して、[削除]ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。**もう一度[削除]ボタンを押すと、スマートフォトセレクター画像を削除します。削除した画像は元には戻せないのでご注意ください。**

- ベストショットと候補の画像が削除されます。
- 削除をやめるには、[再生]ボタンを押します。

ベストショット以外の画像の削除について

ベストショットの切り換え画面（[参照]35）で[削除]ボタンを押すと、右のような画面が表示されます。次のいずれかを選んで[OK]ボタンを押します。

- ［**この画像**］：表示中の画像が削除されます（ベストショットが表示されている場合は削除できません）。
- ［**ベストショット以外**］：ベストショット候補の画像が削除されます。

確認画面で［**はい**］を選んで[OK]ボタンを押すと、選んだ画像を削除して再生画面に戻ります。

動画撮影モード

動画撮影モードは、HD（High-Definition）動画やスローモーション動画（□40）を撮影したいときに適しています。動画は、動画撮影ボタンを押して撮影します。

HD動画を撮影する

アスペクト比が16：9の音声付きの動画を撮影できます。

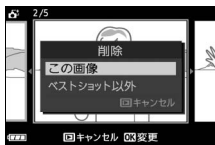
1 撮影モードダイヤルを🎥に合わせる

- HD動画の撮影画面が表示されます。記録されるHD動画と液晶モニターのアスペクト比が異なるため、液晶モニターの上下の部分が黒く表示されます。

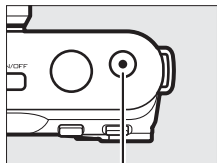
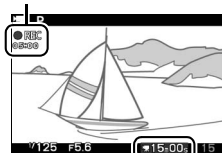
2 カメラを構えて構図を決める

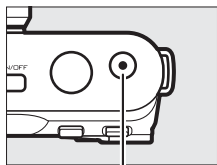
- 被写体を画面の中央付近に配置します。

設定できる機能について

動画モードで設定できる機能については、「設定できる機能一覧」（□49）を参照してください。

3 動画撮影ボタンを押して、撮影を始める

動画撮影ボタン

- 音声も同時に記録します。
- 動画撮影中は、録画中マークと経過時間が液晶モニターに表示されます。SDカードに記録できる残り時間の目安も確認できます。
- HD動画は最大約20分間撮影できます。
- 動画撮影中は、被写体にピントを合わせ続けます。

録画中マーク/経過時間

残り時間

4 もう一度動画撮影ボタンを押して、撮影を終了する

動画撮影ボタン

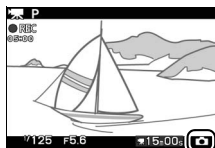
動画撮影中に露出（明るさ）を固定するには

AE/AFロックボタン（ロータリーマルチセレクターのAE-L）を押し続けている間、露出を固定（ロック）できます（AEロック）。

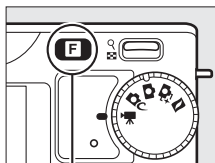
関連ページ

- HD動画の解像度とフレームレートを選ぶ → 🎥［**動画の設定**］（□62）
- 内蔵マイクの感度の程度を設定する → 🎥［**動画音声の設定**］の［**録音設定**］（□63）
- 動画の撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定する → 🎥［**動画音声の設定**］の［**風切り音低減**］（□63）
- 動画の始まりと終わりにフェードイン/フェードアウト効果をかける → 🎥［**フェードイン/アウト**］（□63）

HD動画の撮影中に静止画を撮影する

シャッターボタンを全押しすると、静止画を撮影します（アスペクト比は16：9）。静止画を記録している間も、動画撮影は継続します。

HD動画またはスローモーション動画を選ぶ

動画撮影モードで F ボタンを押すと、［動画モード］メニューが表示されます。ロータリーマルチセレクターで項目を選び、OK ボタンを押して決定します。

- ［**HD動画**］：HD動画を撮影します。
- ［**スローモーション**］：スローモーション動画を撮影します（□40）。

F ボタン

動画撮影中の静止画撮影について

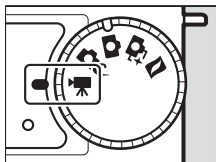
- 1回の動画撮影中に撮影できる静止画は、最大15コマです。
- スローモーション動画撮影中は、静止画撮影できません。

フリッカー低減について

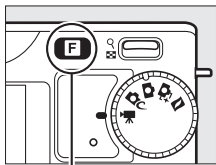
- 蛍光灯や水銀灯などの光源下では、撮影するときの表示や撮影する動画にちらつきや横縞が生じることがあります。この現象を「フリッカー現象」といいます。セットアップメニューの［**フリッカー低減**］を、カメラをお使いになる地域の電源周波数に合わせて、［**50Hz**］または［**60Hz**］に設定してください（□64）。
- セットアップメニューの［**フリッカー低減**］の設定によって、シャッタースピードの低速側の制限が異なります。［**50Hz**］の場合は1/100、［**60Hz**］の場合は1/60より速いシャッタースピードになります。

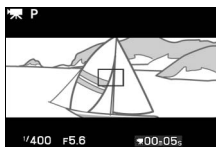
スローモーション動画を撮影する

アスペクト比が8：3の音声なしのスローモーション動画を撮影できます。400コマ/秒の高速で記録した動画を約30コマ/秒で再生します。

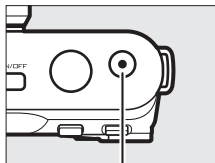
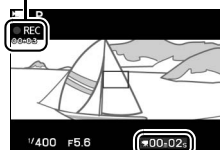
1 撮影モードダイヤルを🎥（動画撮影モード）に合わせる

2 動画モードを［スローモーション］に設定する

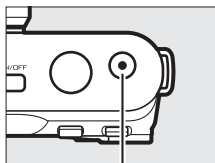
Fボタン

- Fボタンを押すと表示される［動画モード］メニューで［**スローモーション**］を選んでOKボタンを押すと、スローモーション動画の撮影画面が表示されます。
- 記録されるスローモーション動画と液晶モニターのアスペクト比が異なるため、液晶モニターの上下の部分が黒く表示されます。

3 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。

4 動画撮影ボタンを押して、撮影を始める

動画撮影ボタン

- 動画撮影中は、録画中マークと経過時間が液晶モニターに表示されます。SDカードに記録できる残り時間の目安も確認できます。
- スローモーション動画は最大約5秒間撮影できます。

録画中マーク/経過時間

残り時間

5 もう一度動画撮影ボタンを押して、撮影を終了する

動画撮影ボタン

関連ページ

スローモーション動画のフレームレートを変える → 🎥［**撮影速度**］（□62）

動画撮影について

- スローモーション動画の場合、画面中央のAFエリア内の被写体にピントが合います。顔認識AF（□24）は行いません。
- 使用しているSDカードの書き込み速度によっては、最長記録時間に満たないで撮影が自動的に終了する場合があります（□73）。
- マークが表示されているときは、動画撮影できません。
- 1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。

動画撮影時のご注意

- 動画撮影中の液晶モニターの表示に、次のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が発生する
  - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む
  - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む
  - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
  - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
- 次のような場合は、動画撮影は自動的に終了します。
  - 最長記録時間に達した場合
  - SDカードの残量がなくなった場合
  - レンズを取り外した場合
  - 撮影モードを切り換えた場合
  - カメラが熱くなった場合（□12）
- 動画撮影時、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。
- カメラボディー前面にあるマイク（□14）を指などでふさがないようにしてください。音声が記録できない場合があります。
- カメラの動作音や操作音が録音されることがあります。

動画を再生する

撮影した動画は、1コマ表示モード（□25）で㊋ボタンを押して再生します（🎥マークが表示されている画像が動画です）。

• 動画再生時には次の操作を行えます。

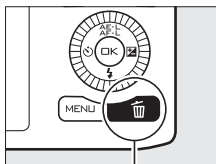
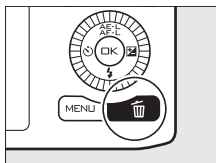
一時停止する		ロータリーマルチセレクターの▼を押すと、一時停止します。
再生を再開する		一時停止中または早送り/巻き戻し中に㊋ボタンを押すと、動画再生を再開します。
巻き戻しする/早送りする	/	再生中に◀を押すと巻き戻し、▶を押すと早送りします。同じ方向のボタンを押すごとに、巻き戻し/早送りの速度が2倍、5倍、10倍、15倍に切り替わります。
コマ戻しする/コマ送りする		• 一時停止中に◀または▶を押すと、コマ戻し/コマ送りします。 • ◀ または ▶ を押し続けると連続でコマ戻し/コマ送りします。 • ロータリーマルチセレクターを回しても、コマ戻し/コマ送りできます。

音量を調節する		レバーを上に押すと音量が大きくなり、下に押すと小さくなります。
再生を終了する	/ ▶	▲または▶ボタンを押すと、1コマ表示モードに戻ります。

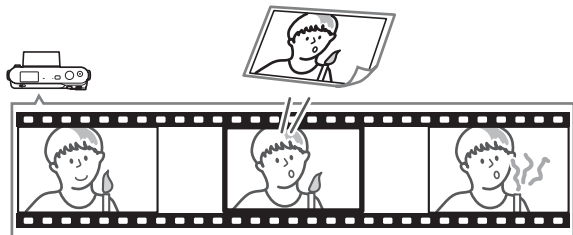
動画を削除する

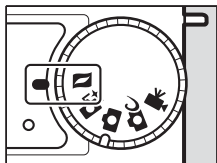
🗑ボタン

動画の表示中に🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。**もう一度🗑ボタンを押すと、動画を削除します。削除した画像は元には戻せないのでご注意ください。**

- 削除をやめるには、▶ボタンを押します。

モーションスナップショットモード

モーションスナップショットモードは、静止画撮影時に短い動画も一緒に残したいときに適しています。

- シャッターをきると、静止画と約1秒間の動画を撮影します。モーションスナップショット画像を再生すると、始めに動画がスローモーションで約2.5秒間再生され、続いて静止画が表示されます。モーションスナップショット画像の再生中は、BGMが約10秒間流れます。

モーションスナップショットで撮影する

1 撮影モードダイヤルを（モーションスナップショットモード）に合わせる

設定できる機能について

モーションスナップショットモードで設定できる機能については、「設定できる機能一覧」（□49）を参照してください。

2 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。

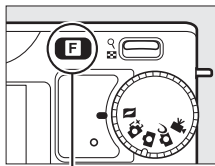
3 シャッターボタンを半押しする

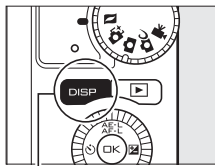
- 被写体に自動的にピントが合います(□22)。
- シャッターボタンの半押し中は、カメラが先取り撮影を行います（液晶モニターにアイコンが表示されます）。

4 シャッターボタンを全押しして撮影する

- 静止画と同時に、シャッターボタン全押しの前後約1秒間の動画を記録します。
- 全ての画像を記録し終えるまで、時間がかかる場合があります。
- 撮影が終了すると、撮影した画像が液晶モニターに数秒間、表示されます。

❚❚「テーマ」を選ぶ

モーションスナップショットモードでFボタンを押すと、［テーマ］メニューが表示されます。ロータリーマルチセレクターで項目を選び、Ⓚボタンを押して決定します。［**きらめき**］、［**ゆらめき**］、［**やすらぎ**］、［**愛らしさ**］からお好みの「テーマ」を選ぶと、撮影時に設定した「テーマ」に合ったBGMが、モーションスナップショット画像の再生時に流れます。

Fボタン

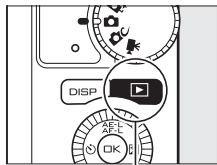
- 「テーマ」選択画面でDISPボタンを押すと、BGMを確認できます。
- BGM再生中にズームレバーを押すと、音量を調整できます。

DISPボタン

モーションスナップショットモードについて

- 音声は記録されません。
- 動画撮影ボタンを押しても、動画は撮影できません。
- 内蔵フラッシュを上げていても、フラッシュは発光しません。

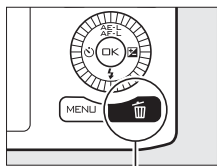
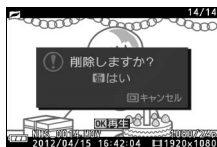
撮影したモーションスナップショット画像を確認する

▶ボタンを押して1コマ表示モード（□25）で画像を再生し、ロータリーマルチセレクターでモーションスナップショット画像を選びます（マークが表示されている画像です）。

- ㊐ボタンを押すと、動画がスローモーションで約2.5秒間再生され、続いて静止画が表示されます。モーションスナップショット画像の再生中は、BGMが約10秒間流れます。
- 撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。

▶ボタン

モーションスナップショット画像を削除する

モーションスナップショット画像を表示して、🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。**もう一度🗑ボタンを押すと、モーションスナップショット画像を削除して、再生画面に戻ります。削除した画像は元には戻せないのでご注意ください。**

- 静止画と動画の両方が削除されます。
- 削除をやめるには、▶ボタンを押します。

🗑ボタン

各撮影モードで設定できる機能

設定できる機能一覧

撮影モードや露出モード（□62）によって、設定できる機能は異なります。ここでは、それぞれの撮影モードごとに設定できる機能とできない機能を表にまとめています。表の見方は次の通りです。

- ●：設定を変更できます。
- －：設定は変更できません。

静止画オートモード/スマートフォトセレクターモード/動画モード/モーションスナップモード

	撮影モード											
				P	S	A	M	SCENE	P	S	A	M
撮影メニュー	露出モード※1	－	－	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	画質モード	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	画像サイズ※2	●	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	連写の設定	●※3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	撮影速度	－	－	●※4	●※4	●※4	●※4	－	－	－	－	－
	動画の設定	－	－	●※5	●※5	●※5	●※5	－	－	－	－	－
	測光モード	－	－	●※5	●※5	●※5	●※5	－	●	●	●	●
	ホワイトバランス	－	－	●	●	●	●	－	●	●	●	●
	ISO感度設定	－	－	●	●	●	●	－	●	●	●	●
	Picture Control	－	－	●	●	●	●	－	●	●	●	●
	Custom Picture Control	－	－	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	色空間	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	HDR	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	アクティブD-ライティング	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	長秒時ノイズ低減	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

	撮影モード	📷	📷✦	🎥				▱				
				P	S	A	M	SCENE♥	P	S	A	M
撮影メニュー	高感度ノイズ低減	–	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	フェードイン/アウト	–	–	●※5	●※5	●※5	●※5	–	–	–	–	–
	動画音声の設定	–	–	●※5	●※5	●※5	●※5	–	–	–	–	–
	インターバルタイマー撮影	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	手ブレ補正※6	–	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	フォーカスモード	–	–	●	●	●	●	–	–	–	–	–
	AFエリアモード	–	–	●※5	●※5	●※5	●※5	–	●	●	●	●
	顔認識AF	–	–	●※5	●※5	●※5	●※5	–	●	●	●	●
	内蔵AF補助光の照射	–	●	–	–	–	–	●	●	●	●	●
	フラッシュ調光補正	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
撮影関連の設定	AFエリア	–	–	●※5	●※5	●※5	●※5	–	●	●	●	●
	プログラムシフト	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	AEロック	–	–	●	●	●	–	–	●	●	●	–
	フォーカスロック	–	–	●	●	●	●	–	●	●	●	●
	セルフタイマー	●	–	●	●	●	●	–	–	–	–	–
	露出補正	–	–	●	●	●	–	–	●	●	●	–
	フラッシュモード	●	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	動画モード	–	–	●	●	●	●	–	–	–	–	–
	テーマ	–	–	–	–	–	–	●	●	●	●	●

※1 [**おまかせシーン**]はモーションスナップショットモードの場合のみ設定できます。
※2［**画質モード**］が［**RAW**］の場合は、常に3872×2592ピクセルになります。
※3［**単写**］または［**連写**］のみ設定できます。
※4 動画モードが［**スローモーション**］の場合のみ設定できます。
※5 動画モードが［**HD動画**］の場合のみ設定できます。
※6 VRレンズ使用時のみ設定できます。

クリエイティブモード

	撮影モード	P、S、A、M										
		P	S	A	M							
撮影メニュー	露出モード	●	●※1	●※1	●※1	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	画質モード	●	●	●	●	●※2	●※2	●※2	●※2	●※2	●※2	●※2
	画像サイズ	●※3	●※3	●※3	●※3	●	●	●	●	●	●	●
	連写の設定	●	●	●	●	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	撮影速度	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	動画の設定	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	測光モード	●※4	●※4	●※4	●※4	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	ホワイトバランス	●	●	●	●	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	ISO感度設定	●※4	●※4	●※4	●※4	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	Picture Control	●	●	●	●	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	Custom Picture Control	●	●	●	●	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	色空間	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	HDR	ー	ー	ー	ー	ー	ー	●	ー	ー	ー	ー
	アクティブ D-ライティング	●	●	●	●	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	長秒時ノイズ低減	●※4	●※4	●※4	●※4	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	高感度ノイズ低減	●	●	●	●	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	フェードイン/アウト	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	動画音声の設定	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	インターバルタイマー撮影	●※4	●※4	●※4	●※4	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	手ブレ補正※5	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	フォーカスモード	●※4	●※4	●※4	●※4	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	AFエリアモード	●※6	●※6	●※6	●※6	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	顔認識AF	●※6	●※6	●※6	●※6	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー

=夜景、=夜景ポートレート、=逆光、=かんたんパノラマ、=ソフト、=ミニチュア効果、=セレクトカラー

	撮影モード	P、S、A、M										
		P	S	A	M							
撮影メニュー	内蔵AF補助光の照射	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	フラッシュ調光補正※7	●※4	●※4	●※4	●※4	–	●	●※8	–	●	●	●
撮影関連の設定	AFエリア	●※6	●※6	●※6	●※6	–	–	–	–	–	–	–
	プログラムシフト	●	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	AEロック	●	●	●	–	●	●	●	●	●	●	●
	フォーカスロック	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	セルフタイマー	●※4	●※4	●※4	●※4	●	●	●	–	●	●	●
	露出補正	●	●	●	–	●	●	●	●	●	●	●
	フラッシュモード	●※4	●※4	●※4	●※4	–	●	●※8	–	●	●	●
	動画モード	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	テーマ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

※1［**連写の設定**］が［**エレクトロニック（Hi）**］の場合は、常に［**P プログラムオート**］になります。

※2［**RAW**］または［**RAW+FINE**］は設定できません。

※3［**画質モード**］が［**RAW**］の場合は、常に3872×2592ピクセルになります。

※4［**連写の設定**］が［**エレクトロニック（Hi）**］の場合は設定できません。

※5 VRレンズ使用時のみ設定できます。

※6［**連写の設定**］が［**エレクトロニック（Hi）**］で［**10fps**］の場合は設定できません。

※7 内蔵フラッシュを上げている場合のみ設定できます。

※8［**HDR**］が［**する**］の場合は設定できません。

撮影の便利な機能

セルフタイマーやリモコンを使って撮影する

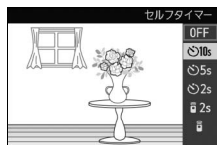
セルフタイマー撮影やリモコン撮影は、記念写真など、自分も一緒に写りたいときに便利です。リモコン撮影には、別売のリモコンML-L3（□72）が必要です。

OFF	セルフタイマー、リモコンモードをOFFにします。
10s（10秒）	セルフタイマー撮影します。シャッターボタンを全押しした後、設定した時間が過ぎたら、自動的にシャッターがきれます。 • ［**2s**］：手ブレの軽減に適しています。 • ［**5s**］、［**10s**］：記念撮影などに適しています。
5s（5秒）	
2s（2秒）	
リモコン2s（2秒リモコンモード）	リモコンの送信ボタンを押すと、2 秒後にシャッターがきれます。
リモコン瞬時（瞬時リモコンモード）	リモコンの送信ボタンを押すと、すぐにシャッターがきれます。

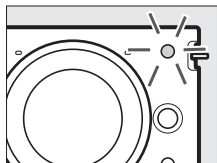
1 三脚などでカメラを固定する

2 ロータリーマルチセレクターの（セルフタイマー）を押す

• 液晶モニターにセルフタイマーのメニューが表示されます。

3 ロータリーマルチセレクターでセルフタイマーまたはリモコンモードを選び、Ⓞボタンを押す

4 構図を決めて撮影を始める

セルフタイマー撮影の場合：

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、全押ししてください。タイマーが作動し、電子音が鳴り始め、セルフタイマーランプが点滅します。撮影2秒前になると点滅から点灯に変わり、電子音が鳴る間隔が短くなります。
- ピントが合っていないときなど、カメラのシャッターがきれない状態ではタイマーは作動しません。

☑ リモコンを初めてお使いになるときのご注意

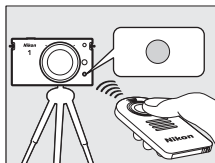
リモコンにはさんである透明の絶縁シートを引き抜いてください。

🖉 三脚アダプターについて

カメラに径の大きなレンズを装着して三脚を使用するときは、雲台にレンズが接触するのを防ぐために、別売の三脚アダプター TA-N100をカメラに取り付けてお使いください（□72）。

リモコン撮影の場合：

- リモコン送信部をカメラの前面にあるリモコン受光部（□14）に向け、送信ボタンを押してください。カメラの前面から5m以内の距離から操作してください。

- 手順3でリモコンモードを選んでから、リモコン撮影をしないまま約5分間の受信待機時間が経過すると、リモコンモードが解除されます。

5 シャッターがきれる

セルフタイマー撮影の場合：

- シャッターボタンを全押ししてから、手順3で設定した時間が過ぎると、シャッターがきれます。

リモコン撮影の場合：

- 2秒リモコンモードではセルフタイマーランプが約2秒間点灯してからシャッターがきれます。
- 瞬時リモコンモードではすぐにシャッターがきれ、撮影後にセルフタイマーランプが一瞬点灯します。
- ピントが合っていないときなど、カメラのシャッターがきれない状態では撮影できないことがあります。

動画撮影モードでのセルフタイマー、リモコン撮影について

動画撮影モード（□37）でセルフタイマー撮影をするときは、シャッターボタンの代わりに動画撮影ボタンを使って動画の撮影を開始します。もう一度動画撮影ボタンを押すと、動画の撮影を終了します。リモコンモードの場合は、リモコンの送信ボタンを押すと動画の撮影を開始し、もう一度送信ボタンを押すと終了します。

セルフタイマー、リモコン撮影時のフラッシュについて

- 撮影を開始する前にフラッシュポップアップレバーをスライドして内蔵フラッシュを上げておくと、内蔵フラッシュを使った撮影ができます。セルフタイマーの作動中や2秒リモコンモードでリモコンの送信ボタンを押した後にフラッシュを上げると、撮影は中止されます。
- リモコンの受信待機状態になるとフラッシュの充電が始まり、充電完了後にリモコンの送信ボタンを押すと発光します。フラッシュの充電中にリモコンの送信ボタンを押しても、カメラは反応しません。
- 瞬時リモコンモードの場合、赤目軽減発光（□57）を組み合わせたフラッシュモードでは、赤目軽減ランプが約1秒間点灯してからシャッターがきれます。2秒リモコンモードの場合、セルフタイマーランプが約2秒間点灯した後、赤目軽減のために赤目軽減ランプが約1秒間点灯してからシャッターがきれます。

セルフタイマー、リモコンモードの解除について

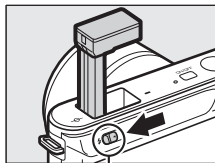
電源をOFFにすると、セルフタイマー、リモコンモードは解除されます。

関連ページ

- リモコン撮影の受信待機時間を変更する → Y［**リモコン待機時間**］（□64）
- セルフタイマー、リモコン撮影時の電子音を消す → Y［**音の設定**］（□64）

内蔵フラッシュについて

フラッシュを使用する場合は、フラッシュポップアップレバーをスライドして内蔵フラッシュを上げてください。

- 内蔵フラッシュを上げると、フラッシュの充電が始まります。フラッシュの充電が完了している場合にシャッターボタンを半押しすると、液晶モニターにレディーライト（●）が点灯します。

フラッシュポップアップレバー

⚡	**通常発光**	被写体が暗い場合や昼間の屋外撮影で顔に影がかかる場合、逆光での撮影時などに使用します。
⚡👁	**赤目軽減発光**	フラッシュが発光する前に、赤目軽減ランプが点灯して、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します。人物撮影に適しています。
⚡👁SLOW	**赤目軽減発光+スロー**	赤目軽減発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。夜景や夕景をバックにした人物撮影などに適しています。
⚡SLOW	**通常発光+スロー**	通常発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。
⚡SLOW REAR	**後幕発光+スロー**	後幕発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。
⚡REAR	**後幕発光**	通常発光時はシャッターが開くと同時にフラッシュが発光します（先幕発光）が、後幕発光ではシャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。動いている被写体の後方に流れる光や軌跡などを表現したい場合などに適しています。

フラッシュモードを設定する

1 ロータリーマルチセレクターの⚡（フラッシュモード）を押す

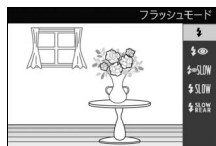
- 液晶モニターにフラッシュモードのメニューが表示されます。
- 設定できるフラッシュモードは、撮影モードや撮影メニューの［**露出モード**］（□62）の設定によって異なります。

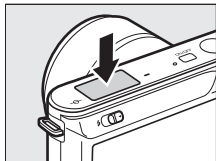
静止画オートモード、夜景ポートレート、逆光※、ソフト、ミニチュア効果、セレクトカラー	
⚡	通常発光
⚡◎	赤目軽減発光

露出モードS、M	
⚡	通常発光
⚡◎	赤目軽減発光
⚡REAR	後幕発光

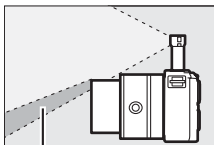
露出モードP、A	
⚡	通常発光
⚡◎	赤目軽減発光
⚡◎SLOW	赤目軽減発光+スロー
⚡SLOW	通常発光+スロー
⚡SLOW REAR	後幕発光+スロー

※［**HDR**］を［**しない**］に設定しているとき

2 ロータリーマルチセレクターでフラッシュモード（□57）を選び、OKボタンを押す

内蔵フラッシュの収納

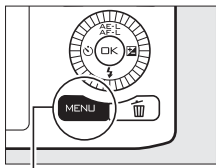
内蔵フラッシュを収納するときは、カチッと音がするまで手で軽く押し下げます。バッテリーの消耗を防ぐため、フラッシュを使わないときは常に収納してください。

内蔵フラッシュについてのご注意

- 内蔵フラッシュは、静止画オートモードまたはクリエイティブモード（[**P、S、A、M**]、[**夜景ポートレート**]、[**逆光**]、[**ソフト**]、[**ミニチュア効果**]、[**セレクトカラー**]）のみ使用できます（🕮50）。
- 内蔵フラッシュは無理に押し下げないでください。故障の原因となります。
- 内蔵フラッシュを連続して使うと、発光部を保護するために、一時的に発光が制限され、シャッターがきれなくなる場合があります。少し時間をおくと再び使えるようになります。
- 高いISO感度で近くの被写体を撮影する場合は、白とびが発生することがあります。
- 赤目軽減発光モードに設定している場合、レンズの種類によっては、赤目軽減ランプの光がさえぎられ、フラッシュ撮影時に充分な赤目軽減効果が得られないことがあります。
- ケラレを防止するために、レンズのフードは取り外して使用してください。
- 撮影距離0.6 m以上で使用してください。
- 使用するレンズや撮影距離によっては、フラッシュのケラレが発生することがあります。

※ケラレとは、内蔵フラッシュの光がレンズの先端でさえぎられて影になり、写真に映り込む現象です。

関連ページ

内蔵フラッシュの発光量を調整する → 📷 [**フラッシュ調光補正**]（🕮63）

メニューを使う

MENUボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。再生や撮影、カメラの基本的な設定をするときは、主にメニュー画面を使います。

MENUボタン

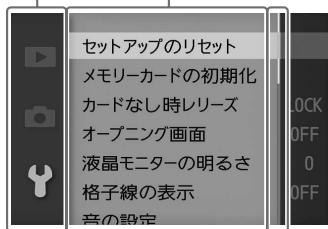
メニュー切り換えアイコン

画面左端のアイコンを選んで、メニューを切り換えます。

▶	**再生メニュー（□62）**
、、、、	**撮影メニュー（□62）**
	セットアップメニュー（□64）

セットアップのリセット
メモリーカードの初期化
カードなし時レリーズ　LOCK
オープニング画面　OFF
液晶モニターの明るさ　0
格子線の表示　OFF
音の設定

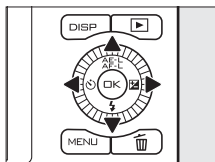
メニュー項目

メニュー内にある設定項目を一覧表示します。

項目がそのメニュー全体のどの位置にあるかを示しています。

メニューについて

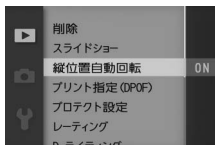
- 撮影モードやカメラの状態によって、表示されるメニュー項目は異なります。
- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目はグレーで表示されて選べません。
- メニュー画面から撮影に戻るには、シャッターボタンを半押し（□22）してください。

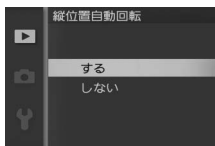
メニューの操作方法

メニュー画面は、ロータリーマルチセレクターで操作します。

1 ロータリーマルチセレクターの▲▼でアイコンを選び、▶を押す

- メニュー内にある項目が一覧表示されます。

2 ▲▼で設定したい項目を選び、▶を押す

- 選んだ項目の設定内容が一覧表示されます。

3 ▲▼で設定したい項目を選び、㊋を押す

- 選んだ内容が決定されます。

メニュー項目の一覧

再生メニュー

メニュー項目	内容
削除	複数の画像を一括して削除します。
スライドショー	画像や動画を連続再生します。
縦位置自動回転	縦位置で撮影した画像を、自動的に回転して表示できます。
プリント指定（DPOF）	プリントする画像とプリント枚数をあらかじめ指定できます。
プロテクト設定	大切な画像を誤って削除しないために、画像にプロテクト（保護）を設定できます。
レーティング	撮影した画像にレーティング（重要度）を設定できます。
D-ライティング	画像の暗い部分を明るく補正できます。※
リサイズ	サイズの小さい画像を作成します。※
トリミング	画像の一部を切り抜きます。※
動画編集	動画の必要な部分を残します。※

※ 編集された画像は、元の画像とは別に、新しい画像としてSDカードに記録されます。

撮影メニュー

メニュー項目	内容
撮影メニューのリセット	撮影メニューの各項目など、撮影に関する設定をリセットして初期設定に戻します。
露出モード	露出を決めるときのモードを選べます。
画質モード	画像を記録するときのファイル形式と画質を設定できます。
画像サイズ	画像を記録するときの画像サイズを設定できます。
連写の設定	単写（1コマ撮影）するか、連写（連続撮影）するかを選べます。
撮影速度	動画撮影モードでスローモーション動画を撮影（□40）するときのフレームレートを設定できます。
動画の設定	動画撮影モードでHD動画を撮影（□37）するときの解像度とフレームレートを設定できます。
測光モード	適正な露出を得るためにカメラが被写体の明るさを測る方法（測光モード）を設定できます。

メニュー項目	内容
ホワイトバランス	光源の種類に合わせてホワイトバランスを設定できます。
ISO感度設定	ISO感度を設定できます。
Picture Control	記録する画像の仕上がり（ピクチャーコントロール）を、撮影シーンや好みに合わせて選べます。
Custom Picture Control	「ピクチャーコントロール」を好みに合わせて調整して、「カスタムピクチャーコントロール」として登録できます。
色空間	記録する静止画の色空間を指定できます。
HDR	輝度範囲の広いシーンでも白とびや黒つぶれの少ない画像を記録します（□31）。
アクティブD-ライティング	白とびや黒つぶれを軽減した、見た目のコントラストに近い画像を撮影できます。
長秒時ノイズ低減	シャッタースピードが遅いときに発生するノイズを低減できます。
高感度ノイズ低減	ISO感度が高くなるほど発生しやすいノイズを低減できます。
フェードイン/アウト	HD動画の始めと終わりにフェードイン/フェードアウト効果をかけることができます。
動画音声の設定	動画撮影時の内蔵マイクの感度の程度を設定します。また、風切り音を低減するかどうかを設定できます。
インターバルタイマー撮影	設定した撮影間隔（インターバル）と撮影回数で自動的に撮影するインターバルタイマー撮影を行えます。
手ブレ補正	手ブレ補正機能のある1 NIKKORレンズの装着時に、手ブレ補正の設定ができます。
フォーカスモード	撮影目的にあわせて、ピントの合わせ方を選べます。
AFエリアモード	ピントを合わせるAFエリアをカメラがどのように選択するかを設定できます。
顔認識AF	人物を撮影する場合に、顔認識AFを使うかどうかを設定できます。
内蔵AF補助光の照射	暗い場所でもAF補助光を自動的に照射させないように設定できます。
フラッシュ調光補正	内蔵フラッシュの調光補正量を設定できます。

セットアップメニュー

メニュー項目	内容
セットアップのリセット	セットアップメニューをリセットして、初期設定に戻します。
メモリーカードの初期化	SDカードを初期化します。
カードなし時レリーズ	カメラにSDカードを入れていないときのレリーズ操作を設定できます。
オープニング画面	カメラの電源をONにしたときに、液晶モニターにオープニング画面を表示する/表示しないを設定できます。
液晶モニターの明るさ	液晶モニターの明るさを調整できます。
格子線の表示	撮影時に、液晶モニターに格子線を表示する/表示しないを設定できます。
音の設定	撮影時の電子音の鳴る/鳴らないを設定できます。
オートパワーオフ	カメラの電源をONにしたまま何も操作しないで、待機状態になるまでの時間を設定できます。
リモコン待機時間	リモコンモードに設定してから、カメラがリモコンからの信号を待ち受ける時間を設定できます。
AE/AF-L ボタンの機能	AE/AF ロックボタンを押したときの機能を設定できます。
半押しAEロック	シャッターボタンを半押ししたときにAEロックを行うかどうかを設定できます。
HDMIの機器制御	HDMI-CEC対応テレビのリモコンを使って、テレビに接続したカメラの操作を行えます。
フリッカー低減	蛍光灯や水銀灯などの光源下で、撮影するときの表示や撮影する動画にちらつきや横縞が生じる「フリッカー現象」を低減できます。
連番リセット	ファイル名に使われるファイル番号の連番をリセットします。
地域と日時	現在地と日時、年月日の表示順を設定できます。

メニュー項目	内容
言語 （Language）	メニュー画面やメッセージの表示言語を選べます。
縦横位置情報の 記録	撮影時のカメラの縦横位置情報を画像に記録できます。
ピクセル マッピング	撮像素子と画像処理機能のチェックと最適化を行います。
ファームウェア バージョン	「ファームウェア」のバージョンを表示します。

パソコンとの接続

付属のソフトウェアをインストールする

付属のソフトウェアをインストールして、画像をパソコンに取り込めば、このカメラで撮影した画像の表示、編集やショートムービー作成ができます。インストールを始める前に、お使いのパソコンの環境が□67の動作環境に合っているか確認してください。

1 パソコンを起動し、ViewNX 2/Short Movie Creator CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる

- Mac OSの場合はデスクトップ上のアイコン（ ）をダブルクリックしてから、［**Welcome**］アイコン（ ）をダブルクリックしてください。

2 言語を選択する

- 言語を選んで［**次へ**］をクリックしてください。

3 インストールを開始する

- ［**インストール**］をクリックして画面の指示に従ってインストールしてください。

4 インストールを終了する

- 完了ダイアログが表示されたら［**はい**］（Windows）または［**OK**］（Mac OS）をクリックしてください。
- 次のソフトウェアがインストールされます。
  - ViewNX 2
  - Short Movie Creator
  - Apple QuickTime（Windowsのみ）

5 CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す

付属のソフトウェアの動作環境

- ViewNX 2の動作環境は次の通りです。

<table>
<tr><th colspan="2">Windows</th></tr>
<tr><td>プロセッサー（CPU）</td><td>• 静止画、動画（MotionJPEG圧縮方式）：Intel Celeron/Pentium4/Coreシリーズ1.6GHz以上
• 動画（H.264圧縮方式）：
- 再生時：Pentium D 3.0GHz以上
- 編集時：Core 2 Duo 2.6GHz以上</td></tr>
<tr><td>OS</td><td>Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate (Service Pack 1)、Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate (Service Pack 2)、Windows XP Home Edition/Professional (Service Pack 3)
• すべてプリインストールされているモデルに対応
• Windows 7およびWindows Vistaは64ビット版/32ビット版に対応します。
• Windows XPは32ビット版のみ対応します。</td></tr>
<tr><td>実装メモリー（RAM）</td><td>• Windows 7、Windows Vista：1GB以上（2GB以上推奨）
• Windows XP：512MB以上（2GB以上推奨）</td></tr>
<tr><td>ハードディスク</td><td>OS起動ディスクの空き容量が500MB以上（1GB以上推奨）</td></tr>
<tr><td>モニター</td><td>解像度：1024×768ピクセル（XGA）以上（1280×1024ピクセル（SXGA）以上推奨）
表示色数：24ビットカラー以上</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2">Mac OS</th></tr>
<tr><td>プロセッサー（CPU）</td><td>• 静止画、動画（MotionJPEG圧縮方式）：Intel Core シリーズ/Xeon シリーズ
• 動画（H.264圧縮方式）：
- 再生時：Core Duo 2GHz以上
- 編集時：Core 2 Duo 2.6GHz以上</td></tr>
<tr><td>OS</td><td>Mac OS X （Version 10.6.8、10.7.3）</td></tr>
<tr><td>実装メモリー（RAM）</td><td>512MB以上(2GB以上推奨)</td></tr>
<tr><td>ハードディスク</td><td>OS起動ディスクの空き容量が500MB以上（1GB以上推奨）</td></tr>
<tr><td>モニター</td><td>解像度：1024×768ピクセル（XGA）以上（1280×1024ピクセル（SXGA）以上推奨）
表示色数：1670万色以上</td></tr>
</table>

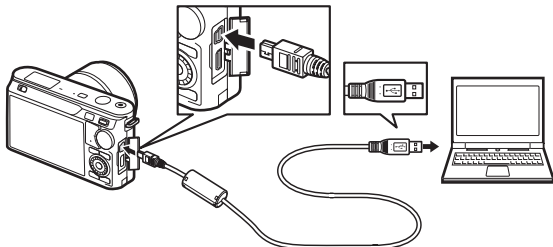
モーションスナップショット画像の再生について

パソコンでモーションスナップショット画像を再生するには、ViewNX 2が必要です。

ViewNX 2を使う

パソコンに画像を取り込む

1 画像の入ったSDカードを用意する

- SDカード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込めます。
  - SDカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、付属のUSBケーブルUC-E15でカメラとパソコンを接続し、カメラの電源をONにする※
    ※ USB ケーブルは、無理な力を加えず、端子にまっすぐ差し込んでください。

  - パソコンに装備されているカードスロットに直接SDカードを差し込む
  - 市販のカードリーダーをパソコンに接続して、SDカードをセットする

対応OSについて

対応OSに関する最新情報は、当社ホームページのサポート情報（□10）でご確認ください。

2 Nikon Transfer 2を起動する

- 起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2を選びます。

> **Windows 7をお使いの場合**
>
> 下の画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。
>
>
>
>
> **1**［**画像とビデオのインポート**］で使用するプログラムにNikon Transfer 2を選ぶ
>
> - ［**画像とビデオのインポート**］の［**プログラムの変更**］をクリックすると表示される画面で、［**画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用**］を選んで、［**OK**］をクリックします。
>
> **2**［**画像ファイルを取り込む**］をダブルクリックする

3 画像をパソコンに取り込む

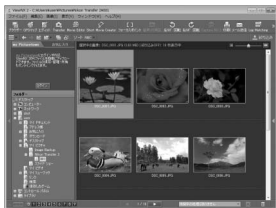
- ［**転送開始**］をクリックすると、記録されているすべての画像がパソコンに取り込まれます（ViewNX 2の初期設定）。

［**転送開始**］をクリック

4 接続を解除する

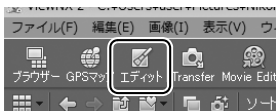
- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜きます。
- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはSDカードを取り外してください。

ViewNX 2を起動する

画像の取り込みが終わると、ViewNX 2が自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。

> **ViewNX 2を手動で起動するには**
> - Windows：デスクトップの［**ViewNX 2**］のショートカットアイコンをダブルクリックする
> - Mac OS：Dockの［**ViewNX 2**］アイコンをクリックする

静止画を編集する

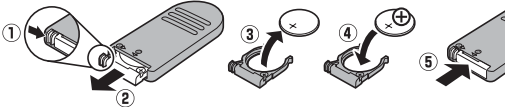
ViewNX 2のツールバーで［**エディット**］をクリックします。

階調の補正、シャープネスの調整、画像の切り抜き（クロップ）などの編集ができます。

画像をプリントする

ViewNX 2のツールバーで［**印刷**］をクリックします。

ダイアログが表示され、パソコンにつないだプリンターから、画像をプリントできます。

> **ViewNX 2の詳しい使い方は**
>
> ViewNX 2のヘルプを参照してください。

資料

このカメラで使えるアクセサリーやカメラの主な仕様など、カメラを使うときに役立つ情報を記載しています。また、カメラの動作がおかしいときや警告メッセージが表示されたときの対処方法についても説明しています。

使用できるアクセサリー

このカメラには撮影領域を拡げるさまざまなアクセサリーが用意されています。詳しくは最新のカタログや当社のホームページなどでご確認ください。

レンズ	• **1マウントレンズ**
マウントアダプター	• **マウントアダプター FT1**
電源	• **Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL20**（□91） ニコンデジタルカメラNikon 1 J2用のバッテリーです。 • **バッテリーチャージャー MH-27**※1（□91） Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL20用のチャージャーです。 ※1 家庭用電源のAC100～240V、50～60Hzに対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめの上、お買い求めください。 • **パワーコネクター EP-5C、ACアダプター EH-5b**※2 ACアダプターを使用すると、長時間カメラを使用するときに安定して電源を供給できます。 - このカメラは、カメラ本体とACアダプターを接続するためにパワーコネクター EP-5Cが必要です。 - EH-5bの代わりにACアダプター EH-5/EH-5aも使えます。 - 日本国内専用電源コード（AC 100V対応）付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。

リモコン （□53）	• **リモコンML-L3** **リモコン用電池（CR2025型3Vリチウム電池）の交換方法** 電池室のノブを右側に押しながら（①）、隙間に爪などを差し込んで手前に引き出して（②）ください。リチウム電池を入れる際は、「+」と「−」の向きをよくご確認ください（④）。
ニコン デジタル カメラ専用 ソフト ウェア	• **Capture NX 2** 画像を詳細に編集できる、画像編集用ソフトウェアです。ホワイトバランス調整やカラーコントロールポイントなどさまざまな機能を備えています。 - 必ず最新版にバージョンアップしてお使いください。ご使用のパソコンがインターネットに接続されている場合、OSログオン後に所定時間を経過すると、ニコンメッセージセンター 2はCapture NX 2の更新情報などを確認します（初期設定）。更新情報がある場合は、「通知の画面」が自動的に表示されます。 • 対応OSについては、当社ホームページのサポート情報（□10）でご確認ください。
ボディー キャップ	• **ボディーキャップBF-N1000** レンズを取り外したカメラボディーに取り付けることにより、ダストシールドなどへのゴミやほこりの付着を防ぎ、カメラ内部を保護します。
三脚 アダプター	• **三脚アダプター TA-N100** カメラに径の大きなレンズを装着して三脚を使用するときに、雲台にレンズが接触するのを防ぐためのアダプターです。

推奨SDカード

次のSDカードの動作を確認しています。

	SDメモリーカード	SDHCメモリーカード※2	SDXCメモリーカード※3
SanDisk製	2GB※1	4GB、8GB、16GB、32GB	64GB
東芝製	2GB※1	4GB、8GB、16GB、32GB	64GB
Panasonic製	2GB※1	4GB、8GB、16GB、32GB	48GB、64GB
LEXAR MEDIA社製	—	4GB、8GB、16GB	—
プラチナⅡシリーズ	—	4GB、8GB、16GB、32GB	—
プロフェッショナルシリーズ	—	4GB、8GB、16GB、32GB	—
フルHDビデオカードシリーズ	—	4GB、8GB、16GB	—

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2GBのSDカードに対応している必要があります。

※2 SDHC 規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。このカメラは、UHS-I規格に対応しています。

※3 SDXC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応している必要があります。このカメラは、UHS-I規格に対応しています。

- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 上記SDカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、SDカードメーカーにご相談ください。その他のメーカー製のSDカードにつきましては、動作の保証はいたしかねます。

カメラのお手入れについて

保管について

長期間カメラを使用しないときは、必ずバッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前には、カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。

カメラを保管するときは、次の場所は避けてください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所

クリーニングについて

カメラ本体	ほこりや糸くずをブロアーで払い、柔らかい乾いた布で軽く拭きます。海辺でカメラを使用した後は、砂や塩を真水で湿らせた布で軽く拭き取り、よく乾かします。 **ご注意：カメラ内部にゴミ、ほこりや砂などが入り込むと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。**
レンズ	レンズ面は傷つきやすいので、ほこりや糸くずをブロアーで払います。スプレー缶タイプのブロアーは、缶を傾けずにお使いください（中の液体が気化されずに吹き出し、レンズを傷つけることがあります）。指紋や油脂などの汚れは、柔らかい布にレンズクリーナーを少量付けて、レンズ面を傷つけないように注意して拭きます。
液晶モニター	ほこりや糸くずをブロアーで払います。指紋や油脂などの汚れは、表面を柔らかい布かセーム革で軽く拭き取ります。強く拭くと、破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。
ダストシールド	ダストシールドは傷つきやすいので、ほこりや糸くずをブロアーで払います。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

☑ 定期点検、オーバーホールのおすすめ

カメラは精密機械ですので、1～2年に1度は定期点検を、3～5年に1度はオーバーホールすることをおすすめします（有料）。

- 特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
- より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズなども併せて点検依頼されることをおすすめします。

カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意

カメラの取り扱い上のご注意

● 強いショックを与えない

カメラやレンズを落としたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。強い衝撃や振動を加えると、破損したり精密に調整された部分に悪影響を及ぼします。

● 水にぬらさない

カメラは水にぬらさないようにご注意ください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えない

極端に温度差のある場所に急にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてからお使いください。

● 強い電波や磁気の発生する場所で撮影しない

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲や、強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しない

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は撮像素子の褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際撮影された画像に、真っ白くにじみが生じることがあります。

● レンズやボディーキャップを外した状態でカメラを放置しない

レンズを取り外した後は、カメラにボディーキャップを必ず取り付けてください。

● カメラ本体のお手入れについて

カメラ本体のお手入れの際は、ブロアーでゴミやほこりを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。特に、海辺で使った後は、真水を数滴たらした柔らかい清潔な布で塩分を拭き取ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いて乾かしてください。

● レンズのお手入れについて

レンズは傷が付きやすいので、ゴミやほこりが付いているときは、ブロアーで軽く吹き払う程度にしてください。なお、スプレー缶タイプのブロアーの場合、スプレー缶を傾けずにお使いください(中の液体が気化されずに吹き出し、レンズを傷つける場合があります)。レンズに万一指紋などが付いてしまった場合は、柔らかい清潔な布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭き取ってください。

● ダストシールドのお手入れについて

ダストシールドを押さえたり、突いたりなどは、絶対にしないでください。傷や破損などの原因となります。

● 風通しのよい場所に保管する

カビや故障などを防ぐため、風通しのよい乾燥した場所を選んでカメラを保管してください。ナフタリンや樟脳の入ったタンスの中、磁気を発生する器具のそば、高温となる夏季の車内、使用しているストーブの前などにカメラを置かないでください。故障の原因になります。

● 長期間使用しないときは、バッテリーを取り出し、乾燥剤と一緒に保管する

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーの液もれなどからカメラを保護するために、必ずカメラからバッテリーを取り出しておいてください。保管する際は、カメラをポリエチレン袋などに乾燥剤と一緒に入れておくとより安全です。ただし、皮ケースをビニール袋に入れると、変質することがありますので避けてください。バッテリーは高温、多湿となる場所を避けて保管してください。乾燥剤(シリカゲル)は湿気を吸うと効力がなくなるので、ときどき交換してください。カメラを長期間使用しないまま放置しておくと、カビや故障の原因となることがあるので、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● バッテリーやACアダプターを取り外すときは、必ずカメラの電源をOFFにする

カメラの電源がONの状態で、バッテリーを取り出したり、ACアダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影中や記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

● 液晶モニターについて

- モニター画面は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくい場合があります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。もしゴミやほこり等が付着した場合は、ブロアーで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがあるので充分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

● モアレについて

モアレは、被写体の模様と撮像素子の配列とが干渉して起きる現象で、連続するパターンのある画像（建物の格子や格子模様、格子状に並んだビルの窓など）や、規則的に繰り返す細かい模様を持つ被写体（カーテンレースの網目や衣類など）を撮影したときに発生することがあります。このモアレは線状に発生する場合もあります。

モアレが発生しやすい被写体を撮影するときは、撮影距離を変える、ズームレンズをご使用の場合はズーミングして焦点距離を変える、被写体に対する角度を変えて撮影する、などの方法をおすすめします。

● 線状のノイズについて

逆光撮影や輝度の高い光源に向けて撮影する場合、まれに画像上に線状のノイズが発生することがあります。

バッテリーの取り扱い上のご注意

● 使用上のご注意

- バッテリーの使用方法を誤ると液もれにより製品が腐食したり、バッテリーが破裂したりするおそれがあります。次の使用上の注意をお守りください。
  - バッテリーはカメラの電源を OFF にしてから入れる。
  - バッテリーを長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがあるので注意する。
  - バッテリーの端子は、汚さないように注意する。
  - 必ず指定のバッテリーを使う。
  - バッテリーを火の中に投入したり、ショートさせたり、分解したりしない。
  - カメラやチャージャーから取り外したバッテリーには、必ず端子カバーを付ける。
- バッテリーは 0 ～ 40 ℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能が劣化したり、故障の原因となります。
- 周囲の温度が 5 ～ 35 ℃の室内で充電してください。バッテリーの温度が 0 ℃以下、60 ℃以上のときは、充電をしません。

- バッテリーの温度が0 ～ 10℃、45 ～ 60℃のときは、充電できる容量が少なくなる、または充電時間が長くなることがあります。
- 一般的な電池特性として、周囲の温度が下がるにつれ、使用できるバッテリー容量は少なくなります。このカメラでは、温度変化に対して使用できる容量も的確にバッテリー残量として表示します。そのため、充分に充電したバッテリーでも、充電したときよりも温度が低くなると、充電直後から残量が減り始めた表示になることがあります。
- 充分に充電したにもかかわらず、室温での使用状態でバッテリーの使用時間が極端に短くなってきた場合は、バッテリーの寿命です。新しいリチャージャブルバッテリー EN-EL20をお求めください。
- カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなっている場合は、温度が下がるのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、または不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因になります。
- しばらく使わない場合は、カメラでバッテリーを使い切った状態で涼しいところで保管してください。周囲の温度が15 ～ 25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。
- 使用後のバッテリーは、半年以内に充電するようおすすめします。長期間保管する場合は、半年に一回程度充電した後、カメラでバッテリーを使い切ってから涼しいところで保管してください。
- 使用しないときは、必ずバッテリーをカメラやチャージャーから取り外してください。付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、過放電になり使えなくなるおそれがあります。

● 撮影前にバッテリーをあらかじめ充電する

撮影前にバッテリーを充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されていません。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、充電された予備のバッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によってはバッテリーの入手が困難な場合があるので、ご注意ください。

● 低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しないことがあります。低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使えることがあります。

● バッテリーの残量について

残量がなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響を及ぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してお使いください。

● 充電が完了したバッテリーを続けて再充電しない

バッテリー性能が劣化します。

● 小型充電式電池のリサイクル

不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

数字の有無と数値は、電池によって異なります。

チャージャーの使用上のご注意

- バッテリーチャージャー MH-27に対応していないバッテリーは、バッテリーチャージャー MH-27で充電しないでください。
- チャージャーの「CHARGE」ランプが速く点滅する場合は、バッテリーの異常です。ただちにチャージャーをコンセントから抜いて、充電を中止してください。販売店またはニコンサービス機関にチャージャーおよびバッテリーをお持ちください。
- 充電中にチャージャーをゆすったり、充電中のバッテリーに触れたりすると、振動や静電気の影響により、きわめてまれではありますが、未充電にもかかわらず充電完了表示になる場合があります。このような場合にはバッテリーを取り外し、再度セットして充電を再開してください。
- チャージャーを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- チャージャーの端子をショートさせないでください。発熱、破損の原因となります。

SDカード取り扱い上のご注意

- カメラの使用後は、SD カードが熱くなっていることがあります。取り出しの際はご注意ください。
- SDカードの初期化中や画像の記録または削除中、パソコンとの通信時などには、次の操作をしないでください。記録されているデータの破損や SD カードの故障の原因となります。
  - SDカードの着脱をしないでください
  - カメラの電源をOFF にしないでください
  - バッテリーを取り出さないでください
  - ACアダプターを抜かないでください
- 端子部に手や金属で触れないでください。
- 無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。
- 曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 熱、水分、直射日光を避けてください。
- パソコンで初期化しないでください。

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせになる前に、次の項目をご確認ください。

表示関連

● **液晶モニターに何も表示されない**

- 電源が入っていません（□19）。
- バッテリー残量がありません（□16、17）。
- 節電機能により待機状態になっています（オートパワーオフ）。ボタンや撮影モードダイヤルを操作してください。
- カメラとパソコン、またはカメラとテレビを接続しています。

● **カメラの電源が突然切れる**

- バッテリー残量がありません（□16、17）。
- 節電機能により待機状態になっています（オートパワーオフ）。ボタンや撮影モードダイヤルを操作してください。
- カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまで、しばらく放置してから電源を入れ直してください（□12、85）。

● **液晶モニターに撮影情報や画像情報が表示されない**

DISPボタンを押すと、撮影時または再生時に液晶モニターに表示される内容を切り換えられます。

撮影関連（全モード共通）

● **電源をONにしてから、撮影できる状態になるまでに時間がかかる**

SDカード内にフォルダーや画像が大量にあるときは、ファイル検索のため時間がかかる場合があります。

● **シャッターがきれない**

- バッテリー残量がありません（□16、17）。
- 残量のあるSDカードが入っていますか？（□19）
- SDカードがロックされていませんか？
- 内蔵フラッシュの充電中はシャッターがきれません（□57）。
- 被写体にピントが合っていません（□22）。
- スローモーション動画撮影中は、シャッターボタンを全押ししても、静止画は撮影できません（□39）。

● **連続撮影できない**

内蔵フラッシュが上がっているときに［**連写の設定**］で［**連写**］を設定していても、連続撮影はできません。

● **リモコンの送信ボタンを押しても撮影できない**

- リモコンの電池残量はありますか？（□72）
- リモコンモードに設定されていますか？（□53）
- 送信ボタンを押す前に［**リモコン待機時間**］を過ぎると、リモコンモードはリセットされます（□64）。
- リモコン送信部をカメラのリモコン受光部に向け、リモコンの送信ボタンを押してください。そのとき、カメラのリモコン受光部が見えていることを確認してください（□14、55）。
- リモコンとカメラとの距離が離れすぎています（□55）。
- 極端な逆光状態などでは、リモコン撮影ができない場合があります。

● **画像にゴミが写り込む**

- レンズの前面または背面（マウント側）が汚れていませんか？
- ダストシールドが汚れていませんか？（□74）

● **撮影時の画面や動画にちらつきや横縞が生じる**

［**フリッカー低減**］の設定を、カメラをお使いになる地域の電源周波数に合わせてください（□64）。

● **選択または設定できないメニュー項目がある**

撮影モードや露出モードによっては、設定できない機能があります。この場合、その項目は選択できません（□49）。

動画撮影関連

● **動画を撮影できない**

動画撮影モード以外のモードでは、動画撮影ボタンを押しても、動画撮影できません（□37）。

● **動画に音声が記録されない**

- ［**動画音声の設定**］の［**録音設定**］が［**録音しない**］になっていませんか？（□63）
- スローモーション動画には、音声は記録されません（□40）。
- モーションスナップショット画像には、音声は記録されません（□47）。

再生関連

● **画像の縦位置・横位置が正しく表示されない**

- ［**縦位置自動回転**］が［**しない**］になっていませんか？（□62）
- ［**縦横位置情報の記録**］が［**しない**］になっていませんか？（□65）
- 撮影直後の画像確認時は、自動回転しません。
- カメラを上向き・下向きにして撮影すると、縦横位置情報が正しく得られない場合があります。

● **動画の音声が再生されない**

- レバーを上に押すと、音量が大きくなります（□44）。
- スローモーション動画には、音声は記録されません（□40）。
- モーションスナップショット画像には、音声は記録されません（□47）。
- テレビで動画を再生するときは、音量をテレビ側で調節してください。
  カメラでは音量調節できません。

● **画像を削除できない**

- SDカードがロックされていませんか？
- 画像にプロテクトが設定されていませんか？

その他

● **カメラが作動しない**

きわめてまれに液晶モニターが異常な状態になり、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。万一このような状態になった場合は、電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し（ACアダプター使用時はいったん外してから付け直し）、もう一度電源をONにしてください。このときバッテリーが熱くなっていることがあるので、取り扱いには充分にご注意ください。さらに不具合が続く場合は、バッテリーをカメラから取り出し、ニコンサービス機関にお問い合わせください。

● **撮影日時が正しく表示されない**

カメラの内蔵時計は合っていますか？カメラの内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないため、定期的に日時設定を行うことをおすすめします。

● **表示されているメニュー項目が選択できない**

- SDカードをカメラに挿入していないときは、選択できない項目があります。
- 一部のメニュー項目は、カメラの設定状況によって選択できない場合があります（□49）。

警告メッセージ

液晶モニターに表示される警告メッセージの意味は次の通りです。

表示	対処方法
（シャッタースピード表示、絞り値表示のいずれかが点滅）	被写体が明るすぎる場合、次の操作を行ってください。 • ISO感度を低くしてください。 • シャッタースピードをより高速側にセットしてください。 • 絞りを絞り込んでください（より大きい数値）。
	被写体が暗すぎる場合、次の操作を行ってください。 • ISO感度を高くしてください。 • 内蔵フラッシュをお使いください。 • シャッタースピードをより低速側にセットしてください。 • 絞りを開いてください（より小さい数値）。
ズームリングボタンを押しながら、ズームリングを回してレンズを繰り出してください。	レンズが収納されています。ズームリングボタンを押しながらズームリングを回して、ロックを解除してください。
レンズを確認してください。レンズが装着されていないと撮影できません。	レンズを装着してください。
起動エラーが発生しました。復旧には電源をOFFにして再度ONにしてください。	電源を一度OFFにしてから、バッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてください。
時計がリセットされました。	日時を設定してください。
メモリーカードが入っていません。	SDカードを正しく入れてください。
メモリーカードが書き込み禁止になっています。	SDカードのロックを解除してください。
このメモリーカードは壊れている可能性があるため、使用できません。カードを交換してください。	• このカメラで使用できるSDカードであるかどうかを確認してください。 • SDカードを初期化し直してください（□18）。状況が改善しない場合は、SDカードが壊れている可能性があります。ニコンサービス機関にご相談ください。 • 新しいSDカードに交換してください。

表示	対処方法
このメモリーカードは初期化（フォーマット）されていません。フォーマットしますか？	• ［**はい**］を選んで、SDカードを初期化してください。 • 電源を OFF にしてから、正しく初期化された SD カードに交換してください。
メモリーカード残量がありません。	• SDカードに記録されている画像を削除して、SDカードに画像ファイルが保存可能な状態にしてください。必要な画像はパソコンなどに転送してバックアップしてください。 • 新しいSDカードに交換してください。
メモリーカードにこれ以上フォルダーを作成できません。	フォルダー番号が999に達しているときにファイル番号が9999に達するか、ファイル数が999個に達すると、それ以上フォルダーを作成できず、シャッターがきれなくなります。この場合は、［**連番リセット**］（□64）を行った後、SDカードを初期化するか（□18）交換してください。
このモードでは動画撮影ボタンを使用できません。	動画撮影モード以外のモードでは、動画撮影ボタンは使用できません。
スローモーション設定では静止画の撮影ができません。	スローモーション動画の撮影中は、シャッターボタンを全押ししても、静止画は撮影できません（□39）。
現在のレンズの焦点距離では撮影できません。	［**かんたんパノラマ**］で撮影を行う場合、実焦点距離が6～30mmのレンズをを使用してください。ズームレンズの場合は、実焦点距離6～30mmのズーム位置で使用してください。
カメラ内が高温となったため、電源をOFFにします。	カメラ内部の温度が下がるまで、撮影を一時休止してください。
撮影画像がありません。	画像が記録されているSDカードを入れてください。
このファイルは表示できません。	• パソコンで編集した画像など、DCF規格の画像ファイルではないため、再生できません。 • 画像ファイルに異常があるため再生できません。
このファイルは選択できません。	• パソコンで編集した画像など、DCF規格の画像ファイルではないため、再生できません。 • 画像ファイルに異常があるため再生できません。

主な仕様

ニコンデジタルカメラNikon 1 J2

型式	
型式	レンズ交換式デジタルカメラ
レンズマウント	ニコン1マウント
実撮影画角	レンズの焦点距離の約2.7倍に相当（35mm判換算）
有効画素数	
有効画素数	1015万画素
撮像素子	
方式	13.2×8.8mmサイズCMOSセンサー、ニコンCXフォーマット
記録形式	
記録画素数	• **静止画（静止画オートモード、クリエイティブモード（［かんたんパノラマ］以外）、スマートフォトセレクターモード）※1** - 3872×2592ピクセル - 2896×1944ピクセル - 1936×1296ピクセル • **静止画（クリエイティブモード［かんたんパノラマ］）** - 3200×560ピクセル（パノラマ標準：水平移動時）※2 - 1024×3200ピクセル（パノラマ標準：垂直移動時）※3 - 6400×560ピクセル（パノラマワイド：水平移動時）※4 - 1024×6400ピクセル（パノラマワイド：垂直移動時）※5 • **静止画（動画撮影モード）**※6 - 3840×2160ピクセル（1080/60i） - 1920×1080ピクセル（1080/30p） - 1280×720ピクセル（720/60p） • **静止画（モーションスナップショットモード）**※6 - 3840×2160ピクセル ※1 アスペクト比は3：2　※4 アスペクト比は80：7 ※2 アスペクト比は40：7　※5 アスペクト比は4：25 ※3 アスペクト比は8：25　※6 アスペクト比は16：9

記録形式	
画質モード	• RAW 12ビット（圧縮） • JPEG-Baseline準拠、圧縮率（約）：FINE（1/4）、NORMAL（1/8）、BASIC（1/16） • RAWとJPEGの同時記録可能
ピクチャーコントロールシステム	スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクローム、ポートレート、風景、いずれも調整可能、カスタムピクチャーコントロール登録可能
記録媒体	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード
対応規格	DCF 2.0（Design rule for Camera File system）、DPOF（Digital Print Order Format）、Exif 2.3（Exchangeable image file format for digital still cameras）、PictBridge
撮影モード	
撮影モード	：静止画オートモード（3：2）、：クリエイティブモード（**P**、**S**、**A**、**M**（3：2）、：夜景（3：2）、：夜景ポートレート（3：2）、：逆光（3：2）、：かんたんパノラマ（水平方向 40：7、80：7、垂直方向 8：25、4：25）、：ソフト（3：2）、：ミニチュア効果（3：2）、：セレクトカラー（3：2））、：スマートフォトセレクターモード（3：2）、：動画撮影モード（HD動画（16：9）、スローモーション（8：3））、：モーションスナップショットモード（16：9）
シャッター	
シャッター方式	エレクトロニックシャッター
シャッタースピード	1/16000秒～30秒（1/3ステップ）、Bulb、Time（別売のリモコンML-L3使用）
フラッシュ同調シャッタースピード	X=1/60秒以下の低速シャッタースピードで同調
レリーズ機能	
レリーズモード	• 単写、連写、エレクトロニック（Hi） • セルフタイマー、リモコン撮影、インターバルタイマー撮影

レリーズ機能	
連続撮影速度	最高約5コマ/秒（静止画オートモードまたはクリエイティブモードの［**P、S、A、M**］で［**連写の設定**］を［**連写**］に設定、フォーカスモードがシングルAFまたはマニュアルフォーカス、露出モードが［**S シャッター優先オート**］または［**M マニュアル**］、1/250秒以上の高速シャッタースピード、その他が初期設定時）
高速連続撮影（エレクトロニック（Hi））速度	約10コマ/秒、約30コマ/秒、約60コマ/秒
セルフタイマー	**作動時間**：2秒、5秒、10秒
リモコンモード	2秒リモコン、瞬時リモコン

露出制御	
測光方式	撮像素子によるTTL測光方式
測光モード	• **マルチパターン測光** • **中央部重点測光**：φ4.5 mm相当を測光 • **スポット測光**：φ2 mm相当を測光、AFエリアに連動して測光位置可動
露出モード	**P**：マルチプログラムオート（プログラムシフト可能）、 **S**：シャッター優先オート、**A**：絞り優先オート、 **M**：マニュアル、SCENE♥：おまかせシーン（シーン自動判別）
露出補正	範囲：±3段、補正ステップ：1/3ステップ ［**露出モード**］が［**P プログラムオート**］、［**S シャッター優先オート**］または［**A 絞り優先オート**］時に設定可能
AEロック	AE/AFロックボタンによる輝度値ロック方式
ISO感度（推奨露光指数）	• ISO 100〜3200（1段ステップ）、ISO 3200に対し約1段（ISO 6400相当）の増感が可能 • 感度制限オート（100〜3200、100〜800、100〜400） ［**露出モード**］が［**P プログラムオート**］、［**S シャッター優先オート**］、［**A 絞り優先オート**］または［**M マニュアル**］時に設定可能
アクティブD-ライティング	する、しない

オートフォーカス	
方式	ハイブリッドAF（位相差AF/コントラストAF）、 AF補助光付
レンズサーボ	• **オートフォーカス（AF）**：シングルAF（AF-S）、コンティニュアスAF（AF-C）、AF自動切り換え（AF-A）、常時AF（AF-F） • **マニュアルフォーカス（MF）**

オートフォーカス	
AFエリアモード	シングルポイント、オートエリア、ターゲット追尾
AFエリア	• **シングルポイント**：135点のAFエリア（中央部73点は位相差AF） • **オートエリア**：41点のAFエリア
フォーカスロック	AE/AFロックボタン、またはシングルAF（AF-S）時にシャッターボタン半押し
顔認識AF	する、しない

フラッシュ	
内蔵フラッシュ	フラッシュポップアップレバー操作による手動ポップアップ方式 ガイドナンバー：約5（ISO 100・m、20℃）
調光方式	撮像素子によるi-TTL調光制御
フラッシュモード	通常発光、通常発光＋スロー、赤目軽減発光、赤目軽減発光＋スロー、後幕発光、後幕発光＋スロー
調光補正	範囲：–3～+1段、補正ステップ：1/3ステップ
レディーライト	内蔵フラッシュ充電完了で点灯

ホワイトバランス	
ホワイトバランス	オート、電球、蛍光灯、晴天、フラッシュ、曇天、晴天日陰、プリセットマニュアル、プリセットマニュアル以外はいずれも微調整可能

動画機能	
測光方式	撮像素子によるTTL測光方式
測光モード	• **マルチパターン測光** • **中央部重点測光**：φ4.5 mm相当を測光 • **スポット測光**：φ2 mm相当を測光、AFエリアに連動して測光位置可動
記録画素数/記録レート	• **HD動画**： - 1920×1080（60i（59.94fields/s）※） - 1920×1080（30p（29.97fps）） - 1280×720（60p（59.94fps）） ※ センサー出力は、約60コマ/秒です。 • **スローモーション動画**： - 640×240（記録：400fps、再生：30p（29.97fps）） - 320×120（記録：1200fps、再生：30p（29.97fps）） • **モーションスナップショットモードで撮影した動画**： - 1920×1080（記録：60p（59.94fps）、再生：24p（23.976fps））
ファイル形式	MOV

動画機能	
映像圧縮方式	H.264/MPEG-4 AVC
音声記録方式	AAC
録音装置	内蔵ステレオマイク、マイク感度設定可能
画像モニター	
画像モニター	3型TFT液晶モニター、約92万ドット、明るさ調整可能
再生機能	
再生機能	1コマ再生、サムネイル再生（4、9、72分割またはカレンダーモード）、拡大再生、動画再生、パノラマ再生、スライドショー、ヒストグラム表示、撮影画像の縦位置自動回転、レーティング
インターフェース	
USB	Hi-Speed USB
HDMI出力	HDMIミニ端子（Type C）装備
表示言語	
表示言語	日本語、英語
電源	
使用電池	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL20（1個使用）
ACアダプター	ACアダプター EH-5b（パワーコネクター EP-5Cと組み合わせて使用）（別売）
三脚ネジ穴	
三脚ネジ穴	1/4（ISO 1222）
寸法・質量	
寸法（W×H×D）	約106.0×61.0×29.8 mm（突起部を含まず）
質量	約280 g（バッテリーおよびSDメモリーカードを含む、ボディーキャップを除く） 約237 g（本体のみ）
動作環境	
温度	0～40℃
湿度	85%以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、全てCIPA（カメラ映像機器工業会）規格による温度条件（23℃（±3℃））で、フル充電バッテリー使用時のものです。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

バッテリーチャージャー MH-27	
電源	AC 100〜240 V、50〜60 Hz、0.2 A
定格入力容量	13〜21 VA
充電出力	DC 8.4 V、0.6 A
適応電池	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL20
充電時間	約2時間 ※残量のない状態からの充電時間（周囲温度25℃）
使用温度	0〜40 ℃
寸法（W×H×D）	約67.0×28.0×94.0 mm
質量	約83 g

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL20	
形式	リチウムイオン充電池
定格容量	7.2 V、1020 mAh
使用温度	0〜40 ℃
寸法（W×H×D）	約30.7×50.0×14.0 mm
質量	約41 g（端子カバーを除く）

レンズ1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6	
型式	1マウントレンズ
焦点距離	10 mm–30 mm
最大口径比	1：3.5–5.6
レンズ構成	9群12枚（非球面レンズ3枚）
画角	77°– 29° 40′
手ブレ補正	ボイスコイルモーター（VCM）によるレンズシフト方式
最短撮影距離	撮像面から0.2 m（ズーム全域）
絞り羽根枚数	7枚（円形絞り）
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲	• 焦点距離10 mm時：f/3.5–16 • 焦点距離30 mm時：f/5.6–16
アタッチメントサイズ	40.5 mm（P=0.5 mm）
寸法	約57.5 mm（最大径）×42 mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで、沈胴時）
質量	約115 g

- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

レンズ1 NIKKOR 11-27.5mm f/3.5-5.6	
型式	1マウントレンズ
焦点距離	11 mm–27.5 mm
最大口径比	1：3.5–5.6
レンズ構成	6群8枚（EDレンズ1枚、非球面レンズ1枚）、他保護ガラス1枚
画角	72º– 32º 20′
最短撮影距離	撮像面から0.3 m（ズーム全域）
絞り羽根枚数	7枚（円形絞り）
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲	• 焦点距離11 mm時：f/3.5–16 • 焦点距離27.5 mm時：f/5.6–16
アタッチメントサイズ	40.5 mm（P=0.5 mm）
寸法	約57.5 mm（最大径）×31 mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで、沈胴時）
質量	約83 g

- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

商標説明

- PictBridgeロゴは商標です。
- SDロゴ、SDHCロゴ、およびSDXCロゴは、SD-3C, LLC.の商標です。
- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、QuickTime は米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

電池寿命について

充電したLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL20（1020 mAh）による電池寿命は、次の通りです。

- 静止画撮影時：約230コマ※1
- 動画撮影時：約50分※2

※1 電池寿命測定方法を定めた CIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。測定条件は次の通りです：
- 画質モードはNORMAL
- 30秒ごとに1回撮影
- 2回に1度、内蔵フラッシュを発光する
- 10回に1度、電源をON/OFFする。

※2 電池寿命測定方法を定めた CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による実撮影電池寿命です。
- 1回の動画撮影で記録可能な最長時間は20分（1080/60i）です。
- １つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。
- カメラが熱くなった場合、連続撮影時間内でも動画撮影が終了することがあります。

- SDカードは東芝社製16GBのSDHC UHS-Iカード（SD-E016GUX）を使用
- 装着レンズは1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6
- フル充電したバッテリーを使用
- 温度23℃（±3℃）
- カメラは初期設定状態

バッテリーの充電状態、撮影間隔やメニュー画面からの設定条件などの使用環境によって、電池寿命が異なります。

次の場合はバッテリーの消耗が早くなります。
- シャッターボタンの半押しを続けた場合
- オートフォーカスのレンズ駆動を繰り返し行った場合
- 画質モードをRAWに設定して撮影した場合
- 低速シャッタースピードで撮影した場合
- Eye-Fiカードを使用した場合
- VRレンズ使用時にVR（手ブレ補正）機能をONにした場合
- パワーズームレンズ使用時にズーム動作を繰り返した場合

Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL20の性能を最大限に発揮させるため、次のことに注意してください。

- バッテリーの端子を汚さないでください。端子が汚れていると、充分な性能が発揮できません。
- 充電が完了したバッテリーは、なるべく早いうちにお使いください。使用しないまま放置していると、自己放電によって、バッテリー残量が減ってしまいます。

索引

マーク・英数字

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン　カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
  「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
  「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

- ニコンサービス機関（裏面に記載の「修理センター」など）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。
- ニコンサービス機関につきましては、詳しくは「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。

【お願い】

- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
  ※ 内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後7年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

製品の使い方に関するお問い合わせ

＜ニコン カスタマーサポートセンター＞

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。

0570-02-8000

一般電話･公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30 ～ 18:00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577 におかけください。ファクシミリでのご相談は、（03）5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

＜ニコン ピックアップサービス＞

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け･集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。

※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。

0120-02-8155

営業時間：9:00～18:00（年末年始12/29～1/4を除く毎日）

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。
製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

＜（株）ニコンイメージングジャパン　修理センター＞

230-0052　**横浜市鶴見区生麦2-2-26**

0570-02-8200

一般電話･公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

携帯OK

営業時間：9:30～18:00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

＜ニコンイメージング／サポートページ＞

- http://www.nikon-image.com/support/

  最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。

  ※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。

- http://www.nikon-image.com/support/repair/

  「ニコン　ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 ニコン

株式会社 ニコン イメージング ジャパン

Printed in China

SB2F01(10)

6MVA3110-01